



明治三十九年十月二十九日接覽

管政務局

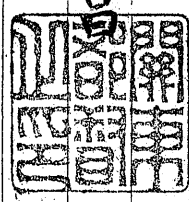
閣官文第 四三 號

受第一八八一九號

當府訓令第五十一號並至第五十八號發布候ニ付別紙及報告候也

明治三十九年十月二十三日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

明治三十九年十二月八日記録網纂後

關東洲民政署

6-0010

訓令第五十一號

郵便電信局

關東都府郵便電信局分掌規程左ノ通相定ム

明治三十九年十月十九日 關東都府 男爵大島義昌

關東都府郵便電信局分掌規程

一 監督課

二 管理掛

三 通信事業ノ觀察ニ關スル事項

四 通信事業ノ法令ニ關スル事項

五 支局ノ分掌規程ニ關スル事項

六 各種料金ニ關スル事項

七 業務ノ取扱時間ニ關スル事項

八 備入ノ身分進退功過ニ關スル事項

九 損害賠償處分報酬及訟訴ニ關スル事項

十 犯罪申告其他事故處分ニ關スル事項

十一 第三種郵便物ノ認可私書函ノ貸與及約束郵便ニ關スル事項

十二 不能配達及差押郵便物又ハ七報ノ取扱ニ關スル事項

十三 官應用及私電電信電話ニ關スル事項

十四 備入ニ贈與スル金銀物品ノ受領申請許否ニ關スル事項

十五 報券金及郵便函持返手當ニ關スル事項

十六 電報ノ調査ニ關スル事項

十七 電報ノ調査ニ關スル事項

十八 電報ノ調査ニ關スル事項

十九 電報ノ調査ニ關スル事項

二十 電報ノ調査ニ關スル事項

二十一 電報ノ調査ニ關スル事項

二十二 電報ノ調査ニ關スル事項

二十三 電報ノ調査ニ關スル事項

二十四 電報ノ調査ニ關スル事項

二十五 電報ノ調査ニ關スル事項

二十六 電報ノ調査ニ關スル事項

二十七 電報ノ調査ニ關スル事項

二十八 電報ノ調査ニ關スル事項

二十九 電報ノ調査ニ關スル事項

三十 電報ノ調査ニ關スル事項

三十一 電報ノ調査ニ關スル事項

三十二 電報ノ調査ニ關スル事項

三十三 電報ノ調査ニ關スル事項

三十四 電報ノ調査ニ關スル事項

三十五 電報ノ調査ニ關スル事項

三十六 電報ノ調査ニ關スル事項

三十七 電報ノ調査ニ關スル事項

三十八 電報ノ調査ニ關スル事項

三十九 電報ノ調査ニ關スル事項

四十 電報ノ調査ニ關スル事項

四十一 電報ノ調査ニ關スル事項

四十二 電報ノ調査ニ關スル事項

四十三 電報ノ調査ニ關スル事項

四十四 電報ノ調査ニ關スル事項

四十五 電報ノ調査ニ關スル事項

四十六 電報ノ調査ニ關スル事項

四十七 電報ノ調査ニ關スル事項

四十八 電報ノ調査ニ關スル事項

四十九 電報ノ調査ニ關スル事項

五十 電報ノ調査ニ關スル事項

五十一 電報ノ調査ニ關スル事項

五十二 電報ノ調査ニ關スル事項

五十三 電報ノ調査ニ關スル事項

五十四 電報ノ調査ニ關スル事項

五十五 電報ノ調査ニ關スル事項

五十六 電報ノ調査ニ關スル事項

五十七 電報ノ調査ニ關スル事項

五十八 電報ノ調査ニ關スル事項

五十九 電報ノ調査ニ關スル事項

六十 電報ノ調査ニ關スル事項

調査掛

一 郵便爲替貯金郵便取立金歳入歳出金及雜部金ノ出納調査ニ關スル事項

二 郵便爲替貯金ノ取立金ノ過拂徴收金及辨償徴收金ノ延納又ハ分納ノ許否ニ關スル事項

三 郵便爲替貯金ノ出納簿ノ出納證明ニ關スル事項

四 田納官吏及出納員ノ出納證明ニ關スル事項

五 規畫課

六 局所掛

七 通信事業ニ關スル各般業務ノ施設改良ニ關スル事項

八 通信事業ノ配當取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

九 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十一 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十二 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十三 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十四 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十五 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十六 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十七 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十八 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

十九 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十一 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十二 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十三 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十四 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十五 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十六 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十七 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十八 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

二十九 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十一 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十二 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十三 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十四 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十五 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十六 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十七 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十八 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

三十九 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十一 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十二 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十三 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十四 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十五 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十六 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十七 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十八 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

四十九 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十一 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十二 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十三 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十四 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十五 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十六 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十七 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十八 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

五十九 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

六十 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

六十一 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

六十二 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

六十三 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

六十四 郵便局ノ配置及取扱事務ノ開辦變更ニ關スル事項

- 十二 電報配達ノ監視ニ關スル事項
- 十三 電報原書及書類ノ検査整理保管及差立ニ關スル事項
- 十四 信使及電信現業備人ノ身分進退及服務ニ關スル事項
- 十五 信使及電信現業備人ノ貯金ニ關スル事項
- 電話掛
- 一 電話通信媒介ノ實務ニ關スル事項
- 二 市外電話交換證ニ關スル事項
- 三 交換手取締交換手及交換手見習ノ身分進退功過及服務ニ關スル事項
- 四 工務課
- 一 電信線電話線施設ノ設計ニ關スル事項
- 二 電信電話線路建築保守及電信電話機ノ裝置保守ニ關スル事項
- 三 電信電話建築法電信電話裝置法及電信電話線試驗法ニ關スル事項
- 四 電信電話建築及試驗區域ノ劃定變更ニ關スル事項
- 五 電信電話線ノ障害ニ關スル事項
- 六 電信電話線ノ試驗及其ノ報告調査ニ關スル事項
- 七 水底線陸揚室試驗室工夫泊所ニ關スル事項
- 八 電信電話事業用品ニ關スル事項
- 九 工手職工工夫及同見習以下ノ身分進退功過及服務ニ關スル事項
- 十 官廳用及私設電信電話工務及保守ノ受託ニ關スル事項
- 五 計理課

- 七 官舎貸渡及其ノ戸籍ニ關スル事項
- 八 電燈暖房其ノ設備及其ノ管理ニ關スル事項
- 九 官有財産ノ管理ニ關スル事項
- 十 局舎營繕工事ノ設計及監督ニ關スル事項
- 十一 局内外ノ取締ニ關スル事項
- 十二 巡視給仕小使等ニ關スル事項
- 十三 非常警備ニ關スル事項
- 六 庶務課
- 人事掛
- 一 吏員ノ身分進退功過ニ關スル事項
- 二 吏員ノ定員定率ニ關スル事項
- 三 機密文書ニ關スル事項
- 四 通信書記補及雇員試驗ニ關スル事項
- 文書掛
- 一 文書ノ授受及發送並淨書ニ關スル事項
- 二 統計報告ニ關スル事項
- 三 記録編纂ニ關スル事項
- 四 鐵道搭乘證其ノ他證券ニ關スル事項
- 五 各種ノ官印及印鑑ニ關スル事項
- 六 圖書ノ保管及版權ニ關スル事項
- 七 石版ノ印刷及其ノ職工ノ備役ニ關スル事項

- 主計掛
- 一 主計課
- 一 主計課
- 二 歳出豫算ノ増減流用及繰越ニ關スル事項
- 三 仕拂豫算及仕拂命令ニ關スル事項
- 四 歳入調定額及確定額ノ繰越並不納損處分ニ關スル事項
- 五 歳入調定額收納及下戻ニ關スル事項
- 六 歳入ノ過課納下戻及缺損補填ニ關スル事項
- 七 會計検査院ノ質疑ニ關スル事項
- 八 郵便切手類及收入印紙ノ賣捌買戻出納及保管ニ關スル事項
- 九 經費ノ支出定額繰越戻入及過年度支出ニ關スル事項
- 十 歳入歳出外現金出納及其ノ検査ニ關スル事項
- 十一 保管證書ニ關スル事項
- 十二 主管會計ノ検査ニ關スル事項
- 十三 證明書類及検査ニ關スル事項
- 十四 工事竣工圖書既濟部分圖書ノ下検査ニ關スル事項
- 十五 課中他掛ニ關セザル事項
- 關度掛
- 一 物品ノ賣買貸借修補ニ關スル事項
- 二 運送備役等ノ受貨契約ニ關スル事項
- 三 物品ノ受拂命令ニ關スル事項
- 四 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 五 物品ノ亡失毀損及不用物品ニ關スル事項
- 六 物品ノ用量及經理ニ關スル事項

八 翻譯ニ關スル事項

九 局中他ノ各課及課中他ノ掛ニ關セザル事項

附 則

本規程ハ明治三十九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス



告示第二十號  
 關東都督府郵便電信局及同支局ニ於テハ毎日左ノ時間内郵便又  
 ハ電報受付郵便爲替、郵便貯金及郵便取立金受拂事務ヲ取扱フ  
 明治三十九年十月十九日 關東都督 男爵大島義昌

郵便又ハ電報受付取扱時間  
 一 三月一日ヨリ十月三十一日迄午前七時ヨリ午後十時ニ至ル  
 一 十一月一日ヨリ翌年二月末日迄午前八時ヨリ午後十時ニ至  
 ル但シ軍事官報及至急電報ニ限リ時間外ト雖之カ受付ヲ爲  
 ス

郵便爲替、郵便貯金及郵便取立金受拂事務取扱時間  
 一 九月十一日ヨリ翌年二月末日迄午前九時ヨリ午後四時ニ至  
 ル

一 三月一日ヨリ七月十日迄午前八時ヨリ午後四時ニ至ル  
 一 七月十一日ヨリ九月十日迄午前八時ヨリ正午十二時ニ至ル  
 但シ日曜日及大祭祝日ニ於テハ正午十二時限リトス

告示第二十一號  
 關東都督府郵便電信局及同支局及同雪裡店支局ハ本日限同南狐  
 山支局ハ本月二十一日限同賽馬集支局ハ本月二十二日限同石門  
 子支局ハ本月二十三日限之ヲ廢止シ其ノ事務ハ關東都督府郵便  
 電信局之ヲ承繼ス

明治三十九年十月十九日 關東都督 男爵大島義昌



明治三十九年十月二十九日

管政務

長

科官

印書

閣下文第一〇〇號  
今般記録規則制定相成別紙一通印刷  
付三間一部及所送付候也

明治三十九年十月二十二日

関東都府官房文書科長 島村晴



外務大臣及房文書科長 島村晴 啟

久吉保

6-0010



訓令第三十九號

官房  
民政部

關東都督府官房並民政部記録規則左ノ通相定ム

明治三十九年九月一日 關東都督男爵大島義昌

關東都督府官房並民政部記録規則

第一章 總則

第一條 官房並民政部ノ記録文書ハ官房文書科ニ蒐集シ本規則ニ依リ編纂保存又ハ廢棄スヘシ但シ特命ニ依ル機密文書ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 機密ノ取扱ヲ爲シタル文書ト雖執行後ニ於テ秘密ヲ要ヤスト認メ官房文書科ニ引継キタルトキハ前條ノ規定ニ依リ處理スヘシ

關東都督府

第三條 各科課限リ處分シタル文書ハ當該各科課ニ於テ適宜處理スヘシ其ノ保存ヲ要スヘキモノハ件名目錄ヲ付シ成冊ノ上官房文書科ニ引継クヘシ

第四條 完結シタル文書ハ結了後十日以内ニ官房文書科ニ引継ヲ了スヘシ

第五條 特別ノ整理ヲ必要ト認ムル文書ハ當該科課長ニ於テ官房文書科長ニ合議シ民政長官ノ決裁ヲ經テ本規則ノ規定ニ準據シ當該科課ニ保管スルコトヲ得

第六條 記録文書ハ曆年ヲ以テ分界ス但シ歳入歳出及物品會計ニ屬スルモノハ其ノ年度ニ依ル

第二章 檢別及分類

第七條 官房文書科ニ於テ完結文書ノ引継ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ檢別スヘシ

一關係文書ノ整否

一保存若ハ廢棄

一分類及保存期間

第八條 檢別ヲ終リタル文書ハ類別目錄ニ其ノ番號、件名及要旨ヲ記載スヘシ但シ一年保存ノ文書ニ關シテハ必要ト認ムルモノノ外類別目錄ニ登錄ヤサルコトヲ得類別ハ別表定ムル所ニ依ル

第九條 記錄文書ハ各類別ニ依リ一定ノ區畫アル書筐ニ收藏スヘシ

第十條 文書ノ交互關聯シタルモノ又ハ二類以上ニ涉リタルモノハ各類別目錄ニ登錄シテ其ノ所在ヲ明記スヘシ

第三章 保存

關東都督府

第十一條 文書ノ保存ヲ區分シテ左ノ四種トス

第一種 永久保存

第二種 十五年保存

第三種 七年保存

第四種 一年保存

第十二條 制定又ハ改廢セラルル命令、非常又ハ特殊ノ處分其ノ他例規ノ基トナリ或ハ歴史ノ徵考トナルヘキ文書若ハ永久保存ヲ必要ト認ムル文書ノ類ハ第一種文書トス

第十三條 命令ノ執行ニ關シ例證ヲ舉グル内訓、指令、通牒又ハ回答シタル文書及諸達、報告、復命書ノ類ニシテ八年以上参照ノ必要アリト認ムルモノハ第二種文書トス

第十四條 會計ニ關シ決算報告ヲ了シタルモノ及上申、指



令報告諸願届統計材料復命書ノ類ニシテ一年以上参照  
ノ必要アリト認ムルモノハ第三種文書トス

第十五條 原簿臺帳ニ登録ヲ了シタル諸申牒官吏ノ身分  
ニ關スル諸願届効力消滅ニ歸シタル免許或ハ處辨ヲ了  
シタル上申通牒回答報告ノ類ニシテ一年以上ノ参照ヲ  
要セスト認ムルモノハ第四種文書トス

第十六條 一時ノ處辨ヲ了シタル文書ニシテ將來参照ノ  
必要ナシト認ムルモノハ官房文書科長ニ於テ當該科課  
長ニ合議シ民政長官ノ決裁ヲ經テ即時廢棄スルコトヲ  
得

第十七條 保存期間ノ計算ハ處分完結ノ翌年一月ヨリ起  
算ス但シ會計年度ニ依ルモノハ翌年度ノ始ノヨリ起算  
スルモノトス

關東都督府

第十八條 保存期間ヲ了リタル文書ハ官房文書科長之ヲ  
點檢シ當該課長ニ合議シ民政長官ノ決裁ヲ經テ其ノ廢  
棄ノ年月日ヲ簿冊ニ記入シ其ノ文書中印章等他ニ移用  
スヘキ虞アルモノハ塗抹或ハ截断シテ物品會計官吏ニ  
交付スヘシ

第四章 編纂

第十九條 文書ハ第八條ニ規定セル類別ニ從ヒ前前  
ニ於テ完結シタルモノニ就キ順次編纂スヘシ  
一事件中ノ順序ハ起端ヲ前ニシ終結ヲ後トス但シ第三  
種以下及供閱ニ止マル文書ハ此ノ限ニ在テス  
各件ノ順序ハ事件結了ノ前後ニ依ル

第二十條 一事件ニシテ數事件ニ關聯スル文書ハ其ノ最  
モ關係多キ部類ニ編入シ自餘ノ部類ニハ餘白又ハ一紙

ヲ添へ關係事項及所在ヲ明記スヘシ

第二十一條 附屬文書及圖表ニシテ本書ニ合綴シ難キモ

ノハ特ニ別冊トシテ編纂スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ

ハ本書成冊ノ目次ニ別冊ト爲シタル旨ヲ附記スヘシ

第二十二條 公信又ハ半公信ニシテ半切紙ニ記載シアル

モノハ美濃ノ紙幅ニ仕立ツヘシ

第二十三條 編纂上各類ノ區分ハ其ノ間白紙ヲ挿入スヘシ

第二十四條 編纂上必要ノ附言ヲ爲スノ外猥ニ原書ノ文

字ヲ改竄塗抹スヘカラス但シ編纂者ニ於テ附言ヲ要ス

ルトキハ

編者附言ヲ押捺スヘシ

第二十五條 文書中ノ筆跡明瞭ナラサルモノ又ハ將來文

字ノ消滅スヘキ虞アリト認ムルモノハ淨寫シテ其ノ本

關東都督府

書ニ添付スヘシ

第二十六條 編纂完了ノ文書ハ裝釘スヘシ但シ成冊ノ厚

サハ曲尺ニ寸ノ程度トスヘシ

第二十七條 前條裝釘濟ノ文書ハ之ヲ公文類纂ト稱シ卷

首毎ニ目錄ヲ付シ每件ニ見出番號ヲ記入スヘシ

第二十八條 公文類纂ハ各保存期間ニ從ヒ總目錄ヲ調製

スヘシ但シ職員ノ進退ニ關スルモノハ「イロ」ハ別トス

第五章 貸出及保管

第二十九條 記録文書ヲ借用又ハ閲覧セントスルトキハ

其ノ番號及件名ヲ舉示シテ官房文書科ニ要求スヘシ

第三十條 借用文書ノ期限ハ三十日以内トス若期限内所

要ヲ辨ヤサルトキハ更ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ參照トシ

テ回議ニ添シタルトキハ其ノ旨ヲ官房文書科ニ通知ス

ハシ

第三十一條 借用文書ハ轉貸スルコトヲ許サス

第三十二條 編纂著手中ノ文書ハ官房文書科ニ於テ閱覽セシムルノ外之ヲ貸付ヤス

第三十三條 記録文書ハ書庫ニ藏置シ之ヲ保管ス

第三十四條 書庫中ノ文書ハ毎年一回曝書シ蠹蝕濕潤ノ虞ナカラシムヘシ

第三十五條 書庫中ニ於テハ喫煙其ノ他一切火氣ヲ使用スヘカラス夜間出入ヲ要スル場合ハ燭火ノ使用ニ注意スヘシ

第三十六條 記録書筐及書庫ハ非常事變アルニ際シ關東都督府官房及民政部ニ屬スル官有物中最先ノ保護ヲ爲スヘシ

關東都督府

第三十七條 民政部監獄署ノ記録規則ハ關東都督府ノ認可ヲ經テ監獄長別ニ之ヲ定ム

附則

本規則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

關東都督府記録分類別表

門一	門二	門三	門四	門五	門六
秘書	文書	外事	地方	殖産	警察
(一) 勅語令旨 (二) 官制 (三) 官規 (四) 進退 (五) 叙位勲記 (六) 叙位勲記 (七) 叙位勲記 (八) 叙位勲記 (九) 叙位勲記 (十) 叙位勲記	(一) 公文 (二) 統計報告 (三) 圖書印刷 (四) 直	(一) 外交 (二) 通商 (三) 旅行 (四) 翻譯	(一) 地方行政 (二) 地方經濟 (三) 地方教育 (四) 土地建物 (五) 宗教 (六) 宗教 (七) 宗教 (八) 宗教 (九) 宗教 (十) 宗教	(一) 商工業 (二) 勸業 (三) 勸業 (四) 勸業 (五) 勸業 (六) 勸業 (七) 勸業 (八) 勸業 (九) 勸業 (十) 勸業	(一) 高等警察 (二) 司法警察 (三) 警察區域 (四) 警察區域 (五) 警察區域 (六) 警察區域 (七) 警察區域 (八) 警察區域 (九) 警察區域 (十) 警察區域
門七	門八	門九	門十	門十	門十一
衛生	財政	土木	司法及監獄	交通	
(一) 病院 (二) 醫師 (三) 傳染病 (四) 傳染病 (五) 傳染病 (六) 傳染病 (七) 傳染病 (八) 傳染病 (九) 傳染病 (十) 傳染病	(一) 國庫費 (二) 地方費 (三) 國庫費 (四) 國庫費 (五) 國庫費 (六) 國庫費 (七) 國庫費 (八) 國庫費 (九) 國庫費 (十) 國庫費	(一) 港灣工事 (二) 測量製圖 (三) 道路橋梁 (四) 道路橋梁 (五) 道路橋梁 (六) 道路橋梁 (七) 道路橋梁 (八) 道路橋梁 (九) 道路橋梁 (十) 道路橋梁	(一) 民事 (二) 刑事 (三) 民事 (四) 刑事 (五) 民事 (六) 刑事 (七) 民事 (八) 刑事 (九) 民事 (十) 刑事	(一) 郵便 (二) 電信 (三) 電話 (四) 電話 (五) 電話 (六) 電話 (七) 電話 (八) 電話 (九) 電話 (十) 電話	

6-0010

府令第二十六號

關東政務局

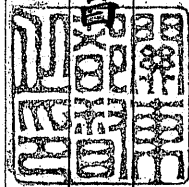
官文 四五 辨

受第一八八七五通

當府府令第二十六號告示第二十二二十三號發布候ニ付別紙及報告候也

明治三十九年十月二十四日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

手引  
今引  
今引

關東洲民政署

卅九年十一月廿二日記録編纂校

府令第二十六號  
明治三十九年九月府令第二十二號關東都督府巡查看守手當支給規則中左ノ通改正ス  
明治三十九年十月二十四日 關東都督 男爵大島義昌  
第三條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ  
職務上ノ傷病又ハ疾病ニ由リ其ノ職ニ堪ヘス退職シタルトキ亦前項ニ同シ

6-0010

告示第二十二號  
警務署ノ名稱及位置左ノ通相定ム  
明治三十九年十月二十三日  
關東都督 男爵大島義昌

名稱	位置
大石橋警務署	大石橋
奉天警務署	奉天
公主嶺警務署	公主嶺

告示第二十三號  
關東都督府地方法院ノ事務ハ明治三十九年十月二十五日ヨリ旅  
順ニ於テ之ヲ取扱フ  
明治三十九年十月二十三日 關東都督 男爵大島義昌

明治三十九年十一月一日接得

警政務局

人事課

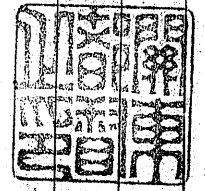
五二

一九〇七

當府府令第三十七號訓令第三十一號告示第二十四號發布候二付別紙及報告候也

明治三十九年十月二十七日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事課

厚計課

四十一年一月廿五日

關東洲民政署



6-0010

府令第二十七號  
營業取締規則左ノ通相定ム  
明治三十九年十月二十六日 關東都督 男爵大島義昌

營業取締規則

- 第一條 左ノ營業ヲ爲サントスル者ハ營業ノ種類、商號、營業ノ場所ヲ具シ甲種營業者ニ在リテハ所轄民政署長ヲ經テ關東都督ニ乙種營業者ニ在リテハ所轄民政署長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ特別ノ規定アルモノハ其ノ手續ニ依ルヘシ
- 甲種  
一 新聞雜誌ノ發行  
二 電氣、瓦斯、汽機、蒸機及石油發動機ヲ使用スル諸營業  
三 銃砲火藥其ノ他爆發物ノ輸出入製造及販賣業  
四 鐵道輸送業  
五 製藥業  
六 賣藥製造業  
七 賣藥部外藥劑製造業  
八 屠獸場營業  
九 化工場營業  
十 其ノ他特別ノ規定シタルモノ
- 乙種  
一 煙火業  
二 石油輸出入及販賣業  
三 黃燐摺附木製造業  
四 鍛冶鑄物製造業  
五 質屋  
六 古物商  
七 印刷業

- 三十三 礦山業  
三十四 炭冶業  
三十五 採炭業  
三十六 理髮業  
三十七 清涼飲料水製造業  
三十八 牛乳採取業  
三十九 乳製品製造業  
四十 製氷、氷雪貯藏及販賣業  
四十一 鐘錶製造業  
四十二 賣藥業  
四十三 掃除業  
四十四 古著、襪履、古綿、古紙營業  
四十五 茶湯屋業  
四十六 浴水業  
四十七 私立病院ノ設置  
四十八 鑛泉浴場業  
四十九 水療養場設置  
五十 市場開設  
五十一 雜貨業  
五十二 阿片販賣及阿片煙營業  
五十三 其ノ他特別ノ規定シタルモノ

第三條 關東都督ハ其ノ營業上ニ關シ命令セラレタル事項ヲ遵守スルヲ要ス

第三條 關東都督ハ其ノ營業上ニ關シ命令セラレタル事項ヲ遵守スルヲ要ス

- 八 印刷製業  
九 運送業  
十 漕業  
十一 水先案内業  
十二 曳船業  
十三 舢舨業  
十四 渡船業  
十五 水上行商  
十六 潜水業  
十七 狩獵業  
十八 代書業  
十九 案内業

- 二十 雇人口入業  
二十一 演劇、寄席其ノ他諸興業  
二十二 物商場、觀物場及遊覽場、遊藝場  
二十三 宿屋、下宿屋、料理店、飲食店、貨席待合茶屋、引手茶屋、芝居茶屋、遊船宿掛茶屋  
二十四 貸座敷、藝妓檢番  
二十五 藝妓、娼妓、酌婦稼業  
二十六 俳優、相撲、遊藝師匠稼業  
二十七 人力車、乘合馬車營業  
二十八 醫術開業  
二十九 藥劑師開業  
三十 獸醫開業  
三十一 蹄鐵工開業  
三十二 產婆業

第四條 所轄民政署長ハ公安、風俗又ハ衛生上必要ト認ムルトキハ當該管區内ノ營業場ニ臨檢セシムルコトヲ得

第五條 所轄民政署長ハ販賣又ハ營業ノ用ニ供スル飲食物、飲食物具、劑劑具其ノ他ノ物品ニシテ衛生上危害ヲ生スル虞アリト認ムルトキハ其ノ製造、販賣、授受、若ハ使用ヲ禁止シ又ハ停止シ若ハ其ノ物品ヲ廢棄セシムル其ノ必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第六條 營業者ニシテ公安、風俗又ハ衛生上危害ヲ生スルモノト認ムルトキハ其ノ營業ヲ停止シ又ハ禁止シ若ハ營業許可ヲ取消ス

第七條 本規則又ハ本規則ニ基ク命令若ハ處分ニ違背シタル者ハ其ノ情狀ニ依リ五十圓以内ノ罰金又ハ拘留科料ニ處ス

附則  
本規則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



訓令第五十二號  
 關東都督府官房並民政部宿直規程左ノ通相定ム  
 明治三十九年十月二十六日 關東都督 男爵大島義昌

第一條 官房並民政部宿直員二名ヲ置キ執務時間外ニ到達スル文書、物品ノ受授ヲ處理シ及應内ヲ取締ル爲メ大島義昌  
 第二條 宿直員文書科長ノ監督ニ屬シ官房員ヲ以テ之ニ充ツ但各課必要ニ依リ設置スル宿直ハ此ノ限ニ在ラス  
 第三條 宿直ニ於テ文書ヲ收受シテ左ノ例ニ依リ處理スヘシ  
 一 本府、都督並官房、民政部、民政長官宛ノ電報及要急ノ標記アル文書ハ即時之ヲ文書科長ニ送付スヘシ  
 二 各科、科長若ハ各課、課長宛ノ電報及要急ノ標記アル文書ハ即時之ヲ當該科、課長ニ送付スヘシ  
 三 前項ニ掲クルモノノ外總テノ文書、物品ハ翌朝(休日ニ當リ)遺漏ナク文書科ニ交付スヘシ  
 第四條 宿直ニ於テ收發シタル文書ハ一定ノ簿冊ニ其ノ要件ヲ記入スヘシ  
 第五條 日誌ニハ左ノ事項ヲ記載シ翌日文書科長ニ差出シ檢印ヲ受クヘシ

一 直宿員ノ官氏名並守衛ノ氏名  
 二 取扱タル事務ノ要領  
 三 其ノ他重要ナル事項  
 第六條 宿直員ハ退廳後廳内ヲ巡視シ各室内ノ整否ヲ點檢シ若シ不整頓ナルヲ認ムルトキハ守衛ヲ指揮シ之ヲ整理セシムヘシ  
 第七條 事務室ハ職員退廳後之ヲ閉鎖ス其ノ鍵ハ宿直員保管シ守衛ヲシテ閉鎖セシムヘシ  
 第八條 非常事變發生シタルトキハ直ニ文書科長、警務課長ニ電話又ハ急使ヲ以テ通報シ事急ナル場合ハ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

訓令第五十三號

明治三十九年九月訓令第三十號囑託員、雇員、傭員、給與規則中左ノ通改正ス  
 明治三十九年十月二十六日 關東都督 男爵大島義昌  
 第四條ニ左ノ一項ヲ加フ  
 各官廳長ハ關東都督ノ認可ヲ經テ前項ノ規定ニ異ナリタル日ニ於テ日給支給スル得ル(庶務課、警務課、根柢課)

官 民 官  
 政 政  
 房 部 院 署 局  
 郵 法 民 官  
 便 電 政 政  
 信 信 院 署 部 房

告示第二十四號  
 警務署管轄區域左ノ通相定ム  
 明治三十九年十月二十四日 關東都督 男爵大島義昌  
 警務署管轄區域  
 警務署別 管轄區域  
 大石橋警務署 海城以南(營口線ヲ含ム)  
 奉天警務署 鐵嶺以南(各支線ヲ含ム)  
 公主嶺警務署 寬城子以南

告示第二十五號  
 明治三十九年十一月一日ヨリ關東都督府郵便電信局寬城子支局  
 ニ於テ郵便、郵便爲替、郵便貯金事務ヲ取扱フ  
 明治三十九年十月二十七日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010



天

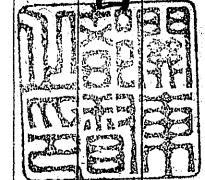
明治三十九年十一月七日

國文第 五六

當府訓令第五十四號告示第五十六號告示第五號發布候二付別紙及報告候也

明治三十九年十月三十日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

會計

人事

四十年一月廿七日

關東洲民政署

6-0010

訓令第五十四號

關東都督府氣象電報取扱規則ノ通相定ム

明治三十九年十月三十日

關東都督 男爵大島義昌

第一章 總則

第一條 關東都督府氣象電報ハ中央氣象臺、同第三臨時觀測所及大連測候所ト大連測候所旅順出張所、奉天測候所、營口測候所トノ間ニ於テ氣象報告ニ關シ往復スル電報ヲ謂フ

第二條 關東都督府氣象電報ヲ分テ三種トス

- 一 一定時氣象電報
- 二 臨時氣象電報
- 三 豫報氣象電報

第三條 大連測候所旅順出張所、奉天測候所、營口測候所ヨリ中央氣象臺、同第三臨時觀測所及大連測候所ヘ向ケ發スル氣象電報ノ本文ハ日本數字ヲ用キ大連測候所ヨリ大連測候所旅順出張所、奉天測候所、營口測候所ヘ向ケ發スル氣象電報ノ本文ハ片假名ヲ用ユ

第四條 大連、奉天、營口各測候所及大連測候所旅順出張所ヨリ發スル氣象電報ノ電信紙ニハ其ノ種類ヲ朱書シ發信所名ヲ記セ

第五條 關東都督府氣象電報ハ至急局報ノ取扱ヲ受ケ無料トス但シ指定事項ヲ記入シタルモノ並ニ定時氣象電報ニシテ觀測時後四十分ヲ經過シテ差出シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二章 一定時氣象電報

第六條 一定時氣象電報トハ大連測候所旅順出張所、奉天測候所、營口測候所ヨリ中央氣象臺、同第三臨時觀測所及大連測候所ヘ向ケ毎日三回午前六時、午後二時、午後十時ノ觀測ヲ報ス

一 最低氣壓 同時刻 大風 最大風 時 刻 上 數字 十 字

二 震 度 時 刻 分 秒 性 質 數 字 九 字

三 暴風雨ニ關シテハ一、地震ニ關シテハ二ト同一式ヲ用ユ

第十條 警報電報ハ左記電報式ニ依ルモノトス

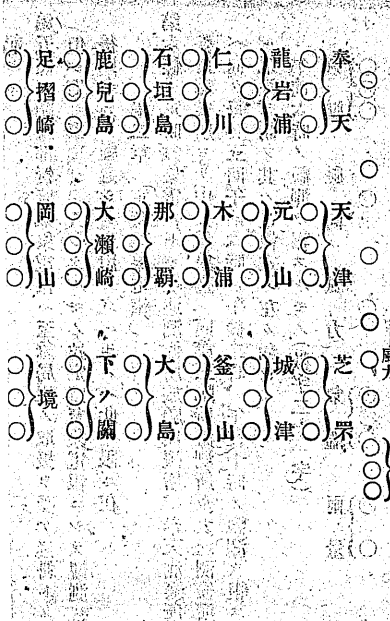
警 戒 所 在 地 最 低 氣 壓 最 低 風 速 方 向 記 事 警 戒 區 域 (片假名)

第十二條 前條ニ用ユル符號ハ別ニ定ムルモノノ外ハ總テ中央氣象臺第三臨時觀測所警報取扱心得ニ準據ス

第四章 豫報氣象電報

第十三條 豫報氣象電報トハ大連測候所ヨリ大連測候所旅順出張所、奉天測候所、營口測候所ヘ向ケ毎日一回左記電報式ニ依リ天氣豫報及各地午前六時ノ氣象ヲ報スル電報ヲ謂フ

(片假名六十三字)



午前六時ノ觀測ヲ報スルモノ(數字二十一字)

氣 壓 風 向 風 力 氣 溫 雨 量

雲 行 雲 速 雲 量 雲 形 記 事 前 日 最 高 溫 度

前日最低溫度

午後二時及十時ノ觀測ヲ報スルモノ(數字十五字)

氣 壓 風 向 風 力 氣 溫 雨 量

雲 行 雲 速 雲 量 雲 形 記 事

第七條 前條ノ電報ニ用ユル符號及記入方等ハ總テ中央氣象臺氣象電報取扱規則ニ準據ス

第三章 臨時氣象電報

第八條 臨時氣象電報トハ左記ノ場合ニ發スル電報ヲ謂フ  
甲 大連測候所旅順出張所、奉天測候所、營口測候所ヨリ中央氣象臺、同第三臨時觀測所及大連測候所ヘ向ケ發スル電報

乙 天候異常ノ際大連測候所ヨリ大連測候所旅順出張所、奉天測候所、營口測候所ヘ向ケ發スル警報電報

第九條 前條甲ノ場合ニハ左記電報式ニ依リ中央氣象臺氣象電報取扱規則ニ準據ス

第十三條 前條各地氣象中電報未著又ハ不明ノ場合ハ其ノ箇所ニハ三個ヲ豫報ヲ發セサル場合ハ其ノ箇所ニハ三個ヲ補充ス

第十四條 天氣豫報符號、各地氣象符號ハ左ノ如シ

符號	豫報	符號	豫報
イ	北ノ風軟弱 晴	ロ	北ノ風軟弱 曇
ハ	北ノ風軟弱 雨	ナ	南ノ風軟弱 晴
ニ	同 同 晴	チ	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	リ	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ラ	同 同 曇
ト	同 同 雨	レ	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ヘ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ト	同 同 雨	ル	同 同 雨
チ	同 同 曇	ル	同 同 曇
リ	同 同 雨	ル	同 同 雨
ニ	同 同 曇	ル	同 同 曇
ヒ	同 同 雨	ル	同 同 雨



告諭第三號  
 本州ニ於ケル諸般統計未タ何等見ルヘキ事ナシト以テ之ヲ遂行スル目下預急務ナリトス抑統計ハ各般行政ノ基礎ト爲リ又社會公衆ノ規準爲期以テ國勢ノ消長ヲ審ニスルキモアニシテ例之國切ノ廣狹地味若肥瘠人口ノ多少及其ノ構成ノ狀態其ノ他殖産興業ノ趨勢交通ノ便否ノ狀況等ハ皆社會萬般ノ現象ニ至ル迄都テ之ヲ網羅シ其ノ實況ヲ調査スルモノニシテ以テ文化ノ進歩ヲ察スヘキ以テ實利ノ増殖ヲ圖ラヘキナリ然レトモ統計ノ正確ナルト否トハ其ノ材料ノ精粗眞偽如何ニ依ル若シ粗率虛偽ノ材料ヲ基礎トセンカ則チ統計ノ却テ事ヲ誤ルニ至ル是誠ニ戒ムヘキコトトス公衆克ク此ノ意ヲ體シ府吏ノ親シク統計材料ヲ徵スルニ當リテハ須ラケ誠實ノ報告ヲ爲シ苟モ隱匿欺罔ノ所爲アルヘカテス若シ之ヲ旨趣ニ反ル者アラハ則チ嚴ニ之ヲ處罰シ敢テ假借セザルヘシ  
 明治三十九年十月三十日  
 關東都督 男爵大島義昌



關官文第 五九 號

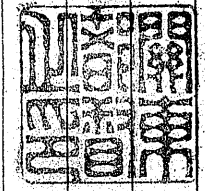
當府訓令第 五十五 號  
紙及報告候也

明治三十九年十月三十一日

關東都督男爵大島義昌

外務大臣子爵林 董殿

算計  
 人事  
 好



發布候ニ付別

關東洲民政署

6-0010

訓令第五十五號

民政部  
民務部  
署

備人給與品及貸與品規程左ノ通相定ム

明治三十九年十月三十一日

關東都督

男爵大島義昌

第一條 備人ニ給與スヘキ品目左ノ如シ

- 一 日帽
- 一 夏衣袴
- 一 冬衣袴
- 一 外著
- 一 冬肌著
- 一 短靴
- 一 防寒外套
- 一 雨合羽
- 一 長靴

第二條 備人ニ貸與スヘキ品目左ノ如シ

日帽	筒	一	年
夏衣袴	組	二	年
冬衣袴	組	三	年
外著	組	一	年
冬肌著	組	一	年
短靴	組	一	年

第三條 給與品ノ員數及使用期限左ノ如シ

第四條 貸與品ハ守衛、自轉車夫、脚夫、水汲夫、掃除夫、馬

丁ニ限リ之ヲ貸與ス

第五條 被服着用ノ時期ハ左ノ區別ニ依ル

- 一 夏衣袴 自五月三十一日
- 一 冬衣袴 自十月三十一日

第六條 解職死亡ノ際ハ貸與品及使用期限内ニ在ル給與品ハ速ニ之ヲ返納セシムヘシ

第七條 貸與品及使用期限内ニ在ル給與品ヲ毀損紛失シタルモノアルトキハ直ニ其ノ事實ヲ財務課長ニ届出ヲ爲サシムヘシ

前項ノ毀損紛失ノ事實ヲ現認シタルモノアルトキハ其ノ現認者ノ證明書ヲ添付セシムヘシ

第八條 前條ノ場合ニ於テハ代品ヲ給與又ハ貸與スルコトヲ得但シ其ノ毀損紛失過失怠慢ニ出テタルモノアルトキハ其ノ相當代價ヲ辨償セシムヘシ

第九條 貸與品及使用期限内ニ在ル給與品ノ修補及洗濯ハ總テ自辨トス

附 則

本規程ハ明治三十九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

正 誤

前號訓令第五十四號第六條及第八條中大連測候所旅順出張所ノ上ニ大連測候所ヨリ中央氣象臺、同第三臨時測候所へ又ハノ二十三字誤脱

譯文書第三號第十五行末字誤作式

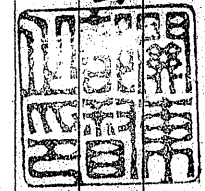
明治三十九年十一月十三日接覽

國官文第 六八 號

當府府令第百二十八號訓令第百二十六號告示第百二十七號發布候ニ付別紙及報告候也

明治三十九年十一月七日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事課  
會計課

官房文書科長檢印

一九〇〇年四月

關東洲民政署

府令第三十八號  
明治三十九年初令第三百七十七號關東都督府典獄監更及看守之服制並提燈徽章、明治三十九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十九年十一月七日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010

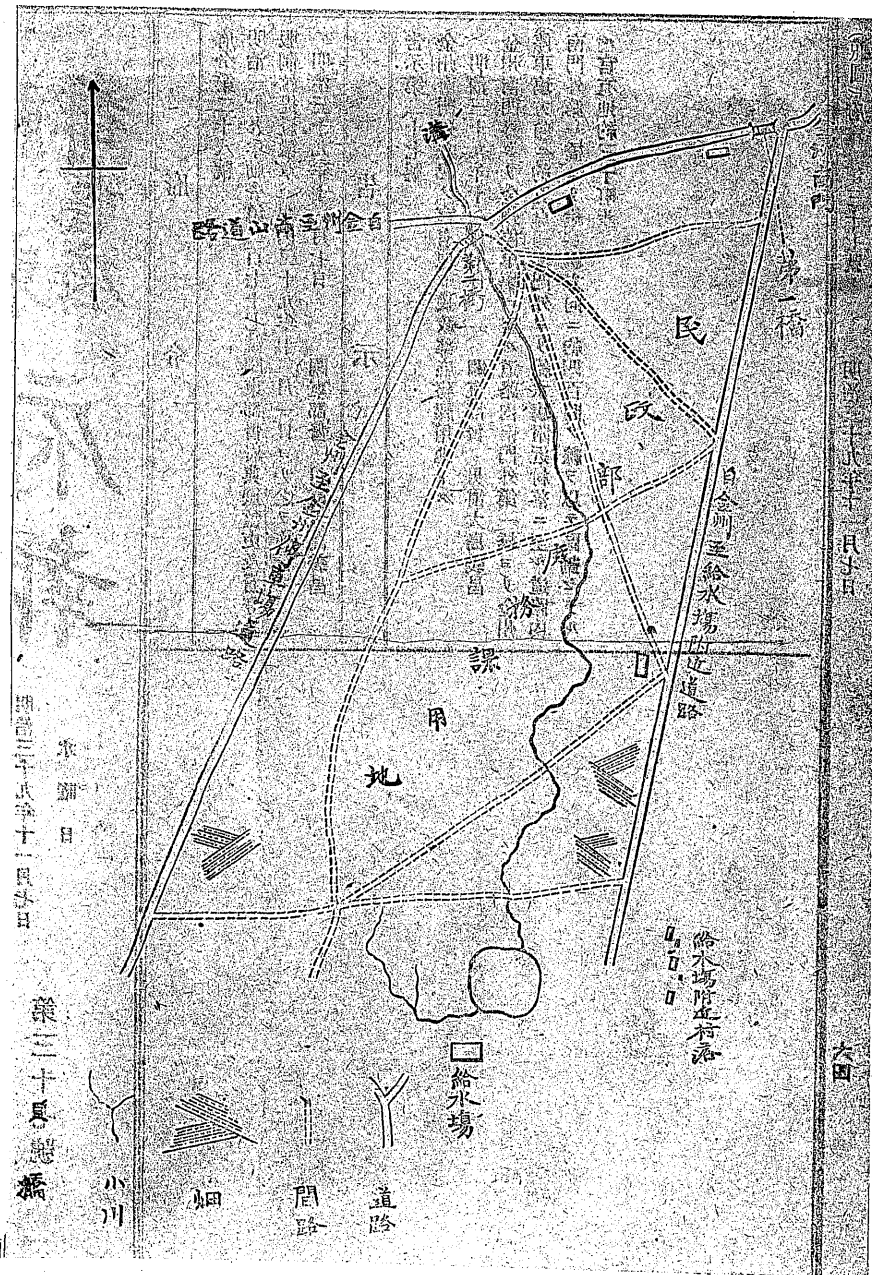


訓令第五十六號  
關東都府府典獄監視及看守服裝規程左ノ通相定ム  
明治三十九年十一月三日  
關東都府府典獄監視及看守服裝規程  
第一條 典獄監視及看守服裝、常裝ハ二種トシ  
看守ノ服裝ハ分テ正裝、禮裝トシ、  
第二條 典獄監視及看守ノ正裝ハ、帽、肩章、刀、正緒、  
手袋、下襟ヲ著裝スルヲ謂ヒ、看守ノ正裝ハ、帽、衣、袴、肩  
章、刀、手袋及下襟ヲ著裝スルヲ謂ヒ、但シ夏衣夏袴ハ正裝ニ  
用ウルモ得ス  
第三條 典獄監視及看守ノ禮裝ハ、帽、衣、袴、刀、正緒、手袋及  
下襟ヲ著裝スルヲ謂フ  
第四條 典獄監視及看守ノ常裝ハ、帽、衣、袴、刀、正緒、手袋、  
下襟ヲ著裝スルヲ謂ヒ、看守ノ常裝ハ、帽、衣、袴、刀、正緒、手袋  
及下襟ヲ著裝スルヲ謂フ  
第五條 正裝ハ儀式、祭典等ノ時ニ著用スルモ、  
第六條 禮裝ハ、通常禮服用ヲ著用スルモ、  
第七條 常裝ハ、通常勤務ノ場合ニ著用スルモ、  
第八條 夏衣夏袴ハ、炎暑ノ際、  
第九條 夏衣夏袴ハ、炎暑ノ際、

第十條 典獄監視及看守ノ甲種外套ハ、雨雪ノ際又ハ防寒ノ爲  
ニ用ウルモノトス、但シ儀式、祭典、  
此ノ限ニ在ラス  
第十一條 典獄監視及看守ノ乙種外套ハ、雨雪ノ際、  
上ニ用ウルモノトス、但シ時宜ニ依リ乙種外套ヲ用ウルモ  
妨ケズ  
第十二條 雨覆ハ、雨雪ノ際、  
第十三條 日覆ハ、炎暑ノ際、  
第十四條 典獄監視及看守ノ刀ハ、上部ノ鍔、  
第十五條 手袋ハ、白又ハ茶褐色、  
第十六條 靴ハ、長、短ノ二種トシ、  
靴ヲ用キタル場合ニ用ウルモノトス  
長途ノ旅行又ハ外役、  
代用スルモノトス  
第十七條 外套ヲ携帯スルニハ、  
靴ヲ結束シ、左肩ヨリ斜ニ右腋下ニ掛クルモノトス

6-0010





告示第二十七號  
 金州南門外左記ノ官有地ヲ民政部庶務課用地トス  
 明治三十九年十一月七日  
 關東部督 男爵大島義昌  
 金州南門外ヨリ金州停車場ニ至ル道路内南門外第一橋ヨリ金州  
 停車場方向ニ約五百間南門外ヨリ給水場附近村落ニ至ル道路内  
 南門外第一橋ヨリ給水場方向ニ約四百間ノ線ヲ以テ區劃セラル  
 ル官有地約三十町歩

6-0010



明治三十九年十一月十三日接受

警務署

關官文第七〇號

當府告示第二十八號  
紙及報告候也

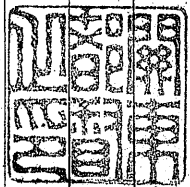
發布候ニ付別

九六〇五

要旨付

明治三十九年十一月八日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

西十年一月廿三日

關東洲民政署



告示第二十八號  
奉天警務署管内支署ノ名稱位置及管轄區域左ノ通相定ム  
明治三十九年十一月七日 關東都督 男爵大島義昌

名	稱	位	置	管轄區域
奉天警務署遼陽支署	遼	陽	以	南
奉天警務署鐵嶺支署	鐵	嶺	以	北

6-0010

0129



告示第二十九號  
關東都督府郵便電信局昌圖城內支局ニ於ケル電話交換ノ業務ハ  
本日限り之ヲ廢止ス  
明治三十九年十二月九日 關東都督 男爵大島義昌

告示第三十號  
明治三十九年十月告示第二十號郵便又ハ電報受付取扱時間中左  
ノ通改正ス  
明治三十九年十二月十八日 關東都督 男爵大島義昌  
第三項但書軍事官報以下「外國官報」ヲ加フ

6-0010



告諭第四號  
 近來滿洲開港場及鐵道用地ヲ離レ其ノ内地ニ旅行スル帝國臣民  
 ニシテ往々旅券ヲ携帶セザル者尠カラサル趣右ノ日清通商航海  
 條約ニ違背スル者ニ有之相當科罰ニ處セラルベキ義ニ付自今該  
 旅行者ハ必ズ領事ノ下附スル旅券ヲ携帶スベキ様各自相心得ヘ  
 明治三十九年十一月九日 關東都督 男爵大島義昌

意味様知!

明治三十九年十一月二十八日接受 郵政務局

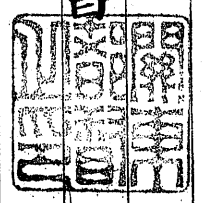
關東都督 男爵大島義昌

受第一〇二一六

當府府令第三號訓令第五十七號並第三十二號 發布候ニ付別  
 紙及報告候也

明治三十九年十一月二十九日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人ノ手  
 今以送付



四十年一月廿三日

關東洲民政署

6-0010

府令第三十號  
 關東都府農業試驗場規程  
 明治三十九年十一月十八日 關東都府 男爵大島義昌  
 第一條 關東都府農業試驗場規程は左の如し  
 一 農業改良の促進を以てその目的とする  
 二 農産物の改良増殖を以てその業務とする  
 三 模範農事、關する事項  
 四 土壌肥料、農産物の分析を以てその業務とする  
 五 種苗肥料等の鑑定を以てその業務とする  
 六 農事巡回講話及講習を以てその業務とする  
 七 農具、農産物の標本陳列を以てその業務とする  
 第三條 農業試驗場は左の職員を置き、農務局長が農務局長を以て之を充つ  
 一 農務局長 一人  
 二 農務助長 若干人  
 三 書記 若干人  
 第四條 農務局長は、場中一切の業務を掌理し、場員を指揮監督す  
 第五條 書記は、場長の指揮を承け、庶務、會計に従事す

6-0010



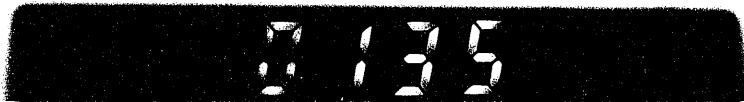




告示第三十號  
關東都督府農事試驗場名稱及位置左ノ通相定ム  
明治三十九年十一月十八日 關東都督 男爵大島義昌  
又 關東都督府農事試驗場名稱及位置左ノ通相定ム  
明治三十九年十一月十八日 關東都督 男爵大島義昌  
前名 關東都督府農事試驗場  
關東都督府農事試驗場 大連 西 公園  
益

告示第三十一號  
關東都督府高等法院事務  
明治三十九年十一月二十一日  
旅順 旅順之取扱  
明治三十九年十一月二十一日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010



明治三十九年十一月二十八日接受

郵政務局

官務文書  
科長  
檢印

二〇二九

九

當府訓令第五十八、五十九、六十號 發布候ニ付別紙及報告候也

明治三十九年十一月二十四日

關東都督男爵大島義昌

關東都督印

外務大臣子爵林 董殿

分計課  
人事課

關東都督

關東洲民政署

訓令第五十八號

郵便電信局

通信工夫旅費支給方左ノ通相定ム

明治三十九年十一月二十二日 關東都督 男爵大島義昌

通信工夫電信電話線路ノ保守建設又ハ修繕等ノ爲出張シタルト

キハ定額ノ旅費ヲ支給セム左記區別ニ從ヒ其ノ旅費ヲ支給ス

一日當ハ日數ニ應シ一日ニ付二十五圓宿泊料ハ枚數ニ應シ

一 夜ニ付六十五圓ヲ支給ス

二 汽車賃、船賃、車馬賃、稅關地ニ急行ヲ命シ特ニ汽車賃、

船賃、車馬賃等ノ仕拂ヲ要スルトキニ限リ其ノ實費ヲ支給

ス但シ汽車賃、船賃ニ等級アル場合ハ各其ノ最低額ニ依

テ

本令、明治三十九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

6-0010

訓令第五十九號  
 郵 便 電 信 局  
 明 治 三 十 九 年 十 月 訓 令 第 五 十 四 號 關 東 郵 政 局 電 報 取 扱 規 則  
 中 左 ノ 通 改 正 ス  
 明 治 三 十 九 年 十 一 月 二 十 二 日 關 東 都 督 男 爵 大 島 義 昌  
 測 候 所 ノ 前 三 郵 便 電 信 局 第 一 條 中 雲 口 測 候 所 ノ 下 二 並 在 韓  
 國 各 臨 時 觀 測 所 ト 大 連 測 候 所 第 八 條 中 大 連 測 候 所 ノ 下 二 又  
 ハ 在 韓 國 各 臨 時 觀 測 所 ヲ リ 大 連 測 候 所 へ ラ 加 フ

6-0010



訓令第六十號

官民民官  
院政政  
部部部  
房房房

明治三十九年九月訓令第三十三號關東部府報告例別冊中左ノ  
通改正ス

明治三十九年十一月二十三日 關東部府 男爵大島義昌

但シ報告例目ニ於テ特ニ其ノ期限ヲ指定スルモノハ此ノ限ニ  
在ラズ

報告例目即報第四項中「瘧疾又ハ」ヲ削リ第八項ノ次ニ左ノ一  
並其ノ様式ヲ加フ

第九 瘧疾發生(同上)

同月報中第四項内地人ノ下ニ「現住戸數」並其ノ様式中月末現在  
者ノ上欄ニ「現住戸數」ノ欄ヲ加フ

同上中第二十四項ノ次ニ左ノ三項並其ノ様式ヲ加フ

第二十五表(舊改)

第二十六表(同上)

第二十七表(同上)

同半年報中第三項ノ次ニ左ノ二項並其ノ様式ヲ加フ

同半年報中第二十六項及第五十六項並其ノ様式ヲ削リ第五十二項  
様式中醫師ノ次欄ニ「試驗學校卒業生」ノ欄ヲ加フ

同臨時報中第四項ノ次ニ左ノ二項並其ノ様式ヲ加フ

第三表 獸疫發生

畜主ノ住所郡縣名	畜種名	種別	毛色	年令	發病ノ場所	發病ノ日時	傳染ノ系統	病畜ノ處置	屍體ノ處置	畜舎及種科ノ處置
牛馬騾驢豚羊山羊	牛馬騾驢豚羊山羊	大ノ別								

何處(可成町村字番地)ニ隔離又  
何處ニ於テ撲殺  
何處ニ埋却又何處ニ於テ燒却

第三十五表 獸疫 明治 年 月

畜種	病名	畜種發病數	死亡撲殺數	全治治療中
牛	炭疽			
馬	氣腫			
騾	鼻疽及皮膚疽			
驢	傳染性胸膜肺炎			
豚	流行性腦脊髓膜炎			
羊	流行性口炎			
山羊	狂牛病			
其他	假性牛癩			
計				

何何豚牛  
何何豚牛



明治三十九年十二月十日發

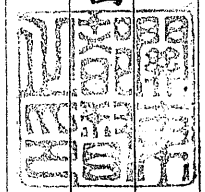
官 政務

當府府令第三十一號

訓令第六十一號 告示第三十一號 發布候ニ付別紙及報告候也

明治三十九年十二月三日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事課  
會計課

四十年一月廿五日

關東洲民教署

府令第三十一號  
大連水質管理規則左ノ通相定ム  
明治三十九年十二月二日 關東都督 男爵大島義昌

第一條 大連水質ハ關東都督府民政部之ヲ管理ス

第二條 水道ヲ使用セントスル者ハ關東都督府民政部ノ承認ヲ受クヘシ

第三條 水道使用者ハ給水ヲ濫用スヘカラス

第四條 水道本支水管以テ之ニ接続スル給水用具ハ關東都督府民政部ノ承認ヲ經ルニテ之ヲ移動シ變更シ又ハ損ニ開閉スルコトヲ得ス

第五條 關東都督府民政長官ハ隨時水道掛員ヲシテ給水用具所在地ニ立入り検査セシムルコトヲ得

第六條 左ノ場合ニハ水道使用者ヨリ關東都督府民政部ニ通報スヘシ

一 給水用具ニ異狀アリト認ムルトキ

一 水道ノ使用ヲ中止セントスルトキ又ハ中止ニ係ルモノヲ開通セントスルトキ

一 給水用具ノ移動、變更ヲ要スルトキ

第七條 水道使用者ハ水道維持ニ要スル費用ヲ負擔スヘシ但シ關東都督府民政部ニ於テ其ノ必要ヲ認メサルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ負擔額ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 給水用具不完全ナリト認ムルトキハ關東都督府民政部ハ相當ノ猶豫期日ヲ定メテ之カ修繕ヲ爲サシムヘシ  
水道使用者若シテ其ノ修繕ヲ怠ルトキハ關東都督府民政部ハ一時給水ヲ停止シ又ハ之ヲ修繕シタル後使用者ヨリ其ノ費用ヲ徴收スルコトヲ得  
附 則  
本規則ハ明治三十九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

6-0010

0140

訓令第六十一號  
關東都督府看守女監取締押丁給與品代料表

關東都督府看守女監取締押丁給與品中代料支給額別表ノ通相定  
本令ハ明治三十九年九月一日ヨリ施行ス  
明治三十九年十二月一日 關東都督 男爵大島義昌

品目	看	女監取締押	丁	備考
長靴	四十錢	四十錢	三十錢	
短靴	四十錢	四十錢	三十錢	
手袋	二十錢	二十錢	十五錢	
靴下	二十錢	二十錢	十五錢	
冬襪袴下	三十錢	三十錢	二十錢	十月ヨリ翌年五月ニ至ル
夏襪袴下	二十錢	二十錢	二十錢	六月ヨリ翌年五月ニ至ル
夏襪袴	二十錢	二十錢	二十錢	六月ヨリ九月ニ至ル

訓令第六十二號  
民政部

左記訓令之ヲ警務署ニ準用ス但 訓令中警務部長又ハ支署長  
所下アルニ警務署長又ハ警務署支署長 警務部出張所 支署出張  
明治三十九年十二月一日 關東都督 男爵大島義昌  
明治三十九年四月訓令第九號關東州民政署警察官吏服務規程、  
同年同月訓令第九號關東州民政署警察配當及勤務規程、同年同  
月訓令第十號關東州民政署警察處務細則、同年五月訓令第十八  
號戶口調査規程、同年七月訓令第三十號關東州民政署巡查精勤  
證書規程、同年同月訓令第三十二號關東州民政署警察官吏  
非常召集規程、同年八月訓令第三十三號關東州民政署警察官吏  
同年同月訓令第二十四號關東州民政署巡查點檢規程、同年同月  
訓令第二十五號關東州民政署巡查調授規程

6-0010

告示第三十三號  
 關東州在住者ニシテ明治四十年、徵兵通諭ノ者三月一日ヨリ十一月  
 及從來消滅ニ居住スルコト故テ以テ徵集猶豫ヲ許可セラレテ  
 形テ通知スルニ記、本年十二月三十一日迄ニ所轄民政署ヲ經テ關  
 東都督府民政課ニ届出シヘシ  
 明治三十九年十一月二十九日 關東都督 男爵大島義昌

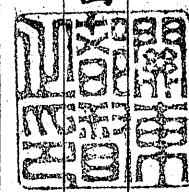
明治三十九年十一月十三日接受 官務政務局

官文第一〇八號

當府訓令第自六十三號第至六十六號 發布候ニ付別  
 紙及報告候也

明治三十九年十二月九日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

外務大臣子爵林 董殿  
 人吉課

關東洲民政署

6-0010



訓令第六十三號

關東都督府文官ノ加俸額ハ高等官ハ本俸十分ノ五判任官ハ本俸十分ノ八トス  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十九年十二月一日 關東都督 男爵大島義昌

官 民 民 官  
政 政 政 政  
部 署 署 部 房  
院 院 院 院  
局 局 局 局  
所 所 所 所

訓令第六十四號

明治三十九年九月訓令第三十三號關東都督府報告例中民政署ノ次ニ「警務署」ヲ加ヘ同別冊中左ノ通改正ス  
明治三十九年十二月五日 關東都督 男爵大島義昌  
報告例目左記各項ノ下括弧内ニ「警務署」ヲ加フ  
即報中第一項乃至第九項

官 民 民 官  
政 政 政 政  
部 署 署 部 房  
院 院 院 院  
局 局 局 局  
所 所 所 所

日報中第一項  
月報中第一項、第二項、第四項、第五項、第七項、第九項乃至第十四項及第二十五項乃至第二十七項  
季報中第五項及第六項  
半年報中第二項乃至第四項  
年報中第一項、第二項、第五項乃至第九項、第十三項乃至第三十二項、第三十八項、第三十九項、第四十二項乃至第五十五項、第五十七項乃至第六十項  
臨時報中第二項乃至第四項  
同上左記各項ノ下括弧内「同上」ヲ「民政署」ニ改ム  
報中第三項及第十項  
年報中第三項及第十三項

A

訓令第六十五號

關東都督府警務署職制左ノ通相定ム  
明治三十九年十二月五日 關東都督 男爵大島義昌

警務部

第一條 各警務署ニ左ノ職員ヲ配置ス

署長 一人

警部 若干人

翻譯生 若干人

巡查 若干人

前項警部以下ノ定員ハ各警務署ヲ通シテ警部十五人、翻譯生七人、巡查三百人トス各警務署ノ定員ハ別ニ之ヲ定ム

第二條 警務署長ハ民政長官ノ指揮監督ヲ受ケ管轄區域内ノ行政警察及司法警察ノ事務ヲ掌理ス

第三條 警務署長ハ其ノ管轄區域内ニ於ケル保護取締ニ必要ナル告示又ハ告諭ヲ發スルコトヲ得

第四條 警務署長ハ部下ヲ監督シ其ノ功過ヲ民政長官ニ具狀ス

第五條 警務署長事故アルトキハ上席警部其ノ職務ヲ代理ス

第六條 警務支署長ハ警務署長ノ指揮監督ヲ受ケ管轄區域内ノ行政警察及司法警察ノ事務ヲ掌理ス

第七條 警務支署長事故アルトキハ上席警部、警部在ラザルトキハ上席巡查部長其ノ職務ヲ代理ス

第八條 警部巡查ノ勤務ニ關シテ公別ニ定ムル所ノ規程ニ依リ

訓令第六十六號

官房 民政 警察 民部 法政 郵政 電信 局院 署部

明治三十九年九月訓令第三十七號宿舍料支給規則中左ノ通改正ス

明治三十九年十二月五日 關東都督 男爵大島義昌

別表中支給標準欄判任官七級俸以下及二十五圓以上嘱託員、雇員ノ下ノ並巡查部長看守部長ヲ削ル



告示第三十四號  
明治三十九年十月告示第三十號郵便又ハ電報受付取扱時間中左  
ノ通改正ス  
明治三十九年十二月一日  
關東都督 男爵大島義昌  
第二項但書軍報官報ノ下ニ  
「日本籍諸國ニ至急」指在アルモノニ限ル  
ヲ加フ

告示第三十五號  
關東都督府通信官署ノ徽章ハ明治二十年遞信省告示第十  
號ニ字形ヲ用ス  
明治三十九年十二月七日  
關東都督 男爵大島義昌

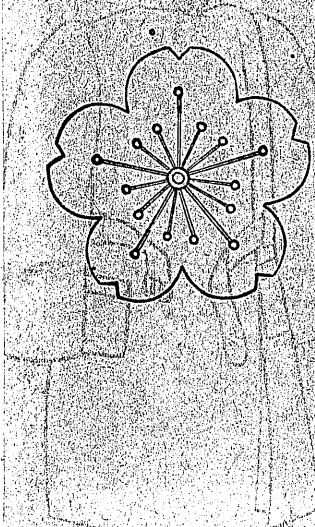
6-0010

0146

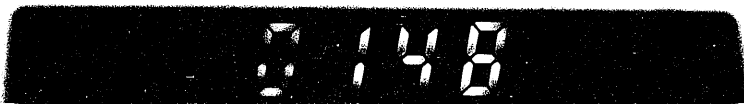


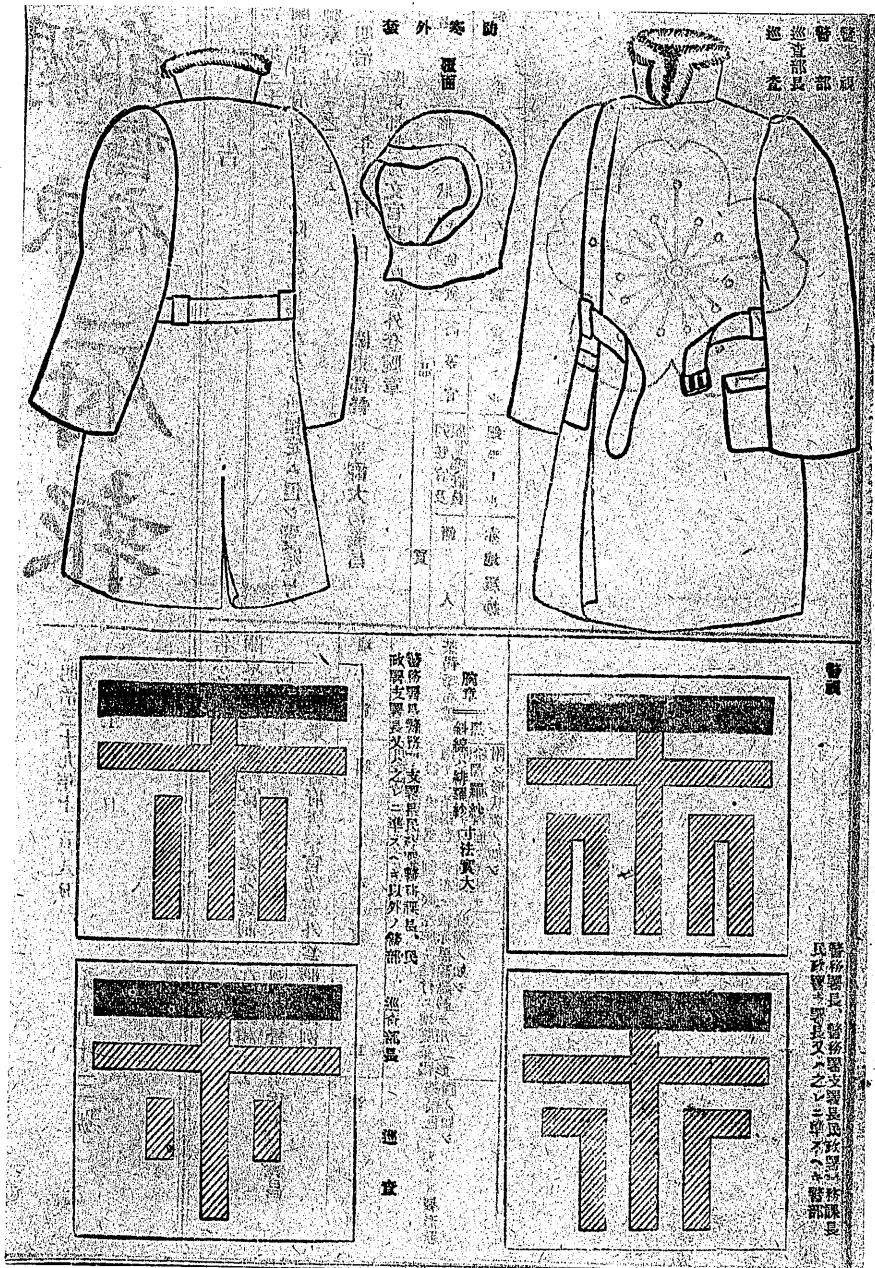
告示第三十六號  
 關東都督府文官以下ノ防寒外套腕章左ノ通相定ム但シ警察官ノ  
 腕章ハ別ニ之ヲ定ム  
 明治三十九年十二月一日 關東都督 男爵大島義昌  
 關東都督府文官以下防寒外套腕章

名	形	狀	附屬品	實
腕章	總幅二寸五分 ノ櫻花章	左	高等官 銀モール 赤地羅紗	列任官及 備人



6-0010





告示第三十七號  
關東都督府警察官ノ防寒外套制式左ノ通相定ム  
明治三十九年十二月一日 關東都督 男爵大島義昌  
關東都督府警察官防寒外套制式圖例

地	質	制	式	圖	例
茶箱毛布製	右ノ襟部ニ重シクシテ止テ設ク後部ニ物入各一箇附テ茶箱色ノ布ヲ用テ附テ内面ニ毛皮ヲ用テ形ノ如ク	折腰脚ニ重シクシテ止テ設ク後部ニ物入各一箇附テ茶箱色ノ布ヲ用テ附テ内面ニ毛皮ヲ用テ形ノ如ク	茶箱毛布製	右ノ襟部ニ重シクシテ止テ設ク後部ニ物入各一箇附テ茶箱色ノ布ヲ用テ附テ内面ニ毛皮ヲ用テ形ノ如ク	茶箱毛布製

6-0010

0149

明治三十九年十一月十九日

管政務

官務文書  
科長檢印

第三一三三〇號

4

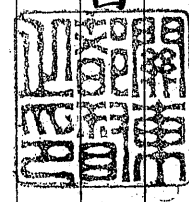
官文第一三五號

當府告示自第三十八號至第四十三號發布候ニ付別  
紙及報告候也

要旨付了

明治三十九年十二月十三日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

明治三十九年十二月十三日

關東洲民致署

告示第三十八號  
關東都督府郵便電信局東大連支局ハ本日限リ之ヲ廢止シ其ノ事  
務ハ關東都督府郵便電信局之ヲ承繼ス  
明治三十九年十二月十日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010





告示第三十九號  
本月十二日ヨリ左記支局ヲ設置シ下記事務ヲ取扱フ  
明治三十九年十二月十日 關東都督 男爵大島義昌  
名 稱 位 置 取扱事務  
關東都督府郵便 關東州大連監部通 郵便、爲替、貯金  
電信局大連支局 電信、電話交換

告示第四十號  
本月十日ヨリ當分ノ内關東都督府郵便電信局郵便物集配及電  
話交換ノ事務ハ大連支局ニ於テ之ヲ取扱フ  
明治三十九年十二月十日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010

0151

告示第四十一號  
 本月十一日ヨリ左記支局出張所ヲ設置シ下記ノ事務ヲ取扱フ但  
 シ郵便物集配及電報配達ノ事務ヲ取扱ハス  
 明治三十九年十二月十日 關東都督 男爵大島義昌  
 名 稱 位 置 取扱事務  
 關東都督府郵便電信局 關東州大連岩代町 郵便、爲替、貯金  
 大連支局岩代町出張所

告示第四十二號  
 本月十五日限ヨリ左記郵便電信支局ヲ廢止シ其ノ事務ハ下記郵便  
 電信支局之ヲ承継ス  
 明治三十九年十二月十日 關東都督 男爵大島義昌  
 名 稱 位 置 承継局名  
 關東都督府郵便電信局 關東州南關嶺 關東都督府郵便  
 南關嶺支局 同 關東都督府郵便  
 同 萬家嶺支局 滿洲萬家嶺 同 熊岳城支局  
 同 馬三家子支局 同馬三家子 同 奉天支局

6-0010

0152



關東都府郵便信局通夫及通信工夫服制  
但之制任官ニシテ係員タル者ノ在リテ規程ノ文信  
制ニ本圖ノ胸章ヲ附ス

品名	員數	保存期限	價	交付制限
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官ノ除ク)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)

關東都府郵便信局通夫及通信工夫服制  
但之制任官ニシテ係員タル者ノ在リテ規程ノ文信  
制ニ本圖ノ胸章ヲ附ス

品名	員數	保存期限	價	交付制限
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官ノ除ク)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)

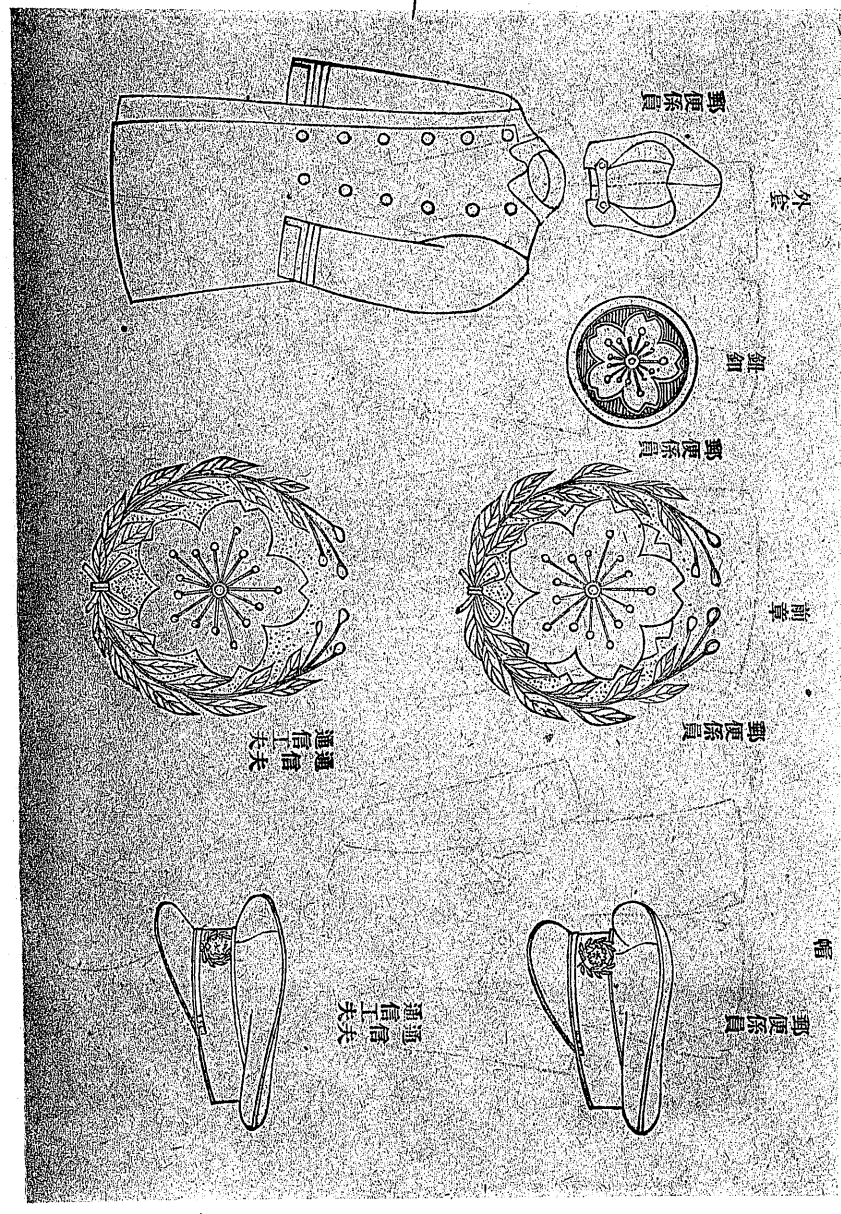
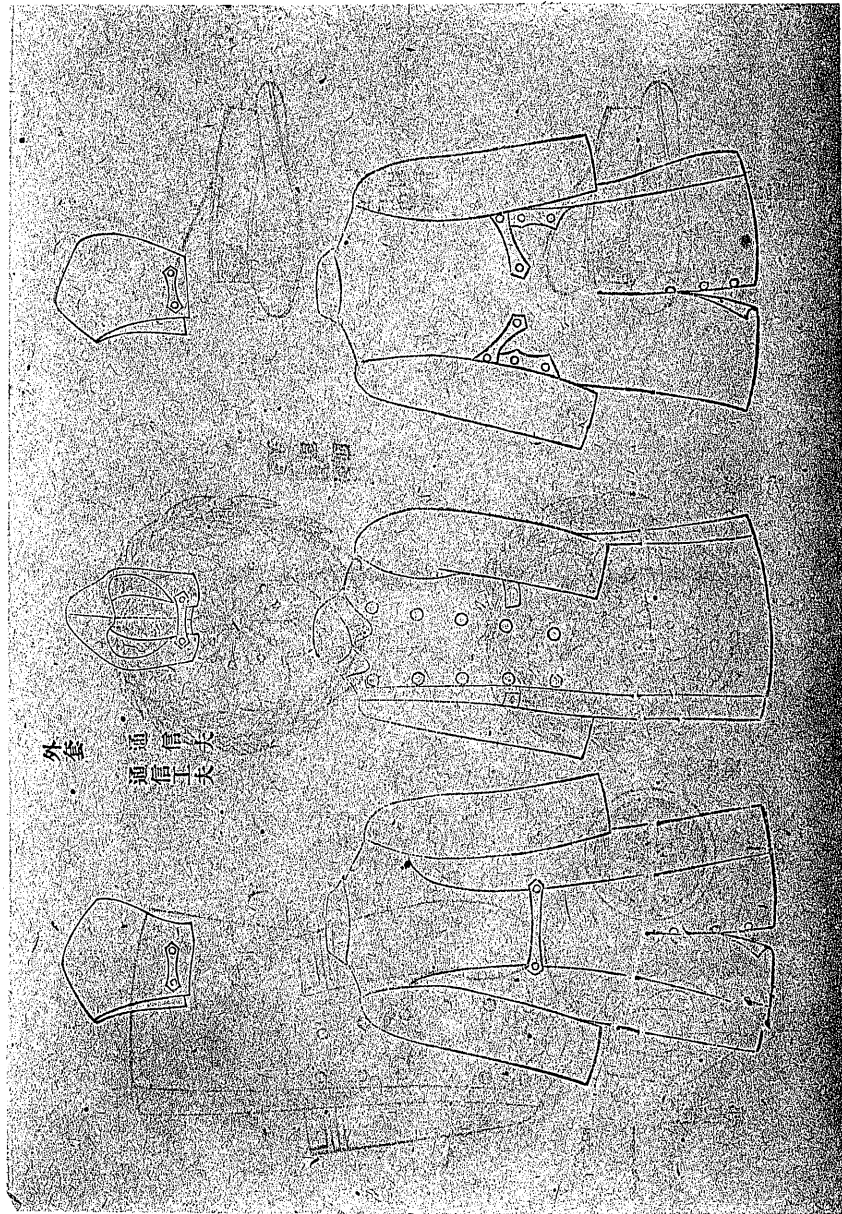
品名	員數	保存期限	價	交付制限
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官ノ除ク)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)

品名	員數	保存期限	價	交付制限
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官ノ除ク)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
冬 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)
夏 加 覆	一	一年	一〇〇〇	鐵道郵便係員(列任官及雇員)

6-0010

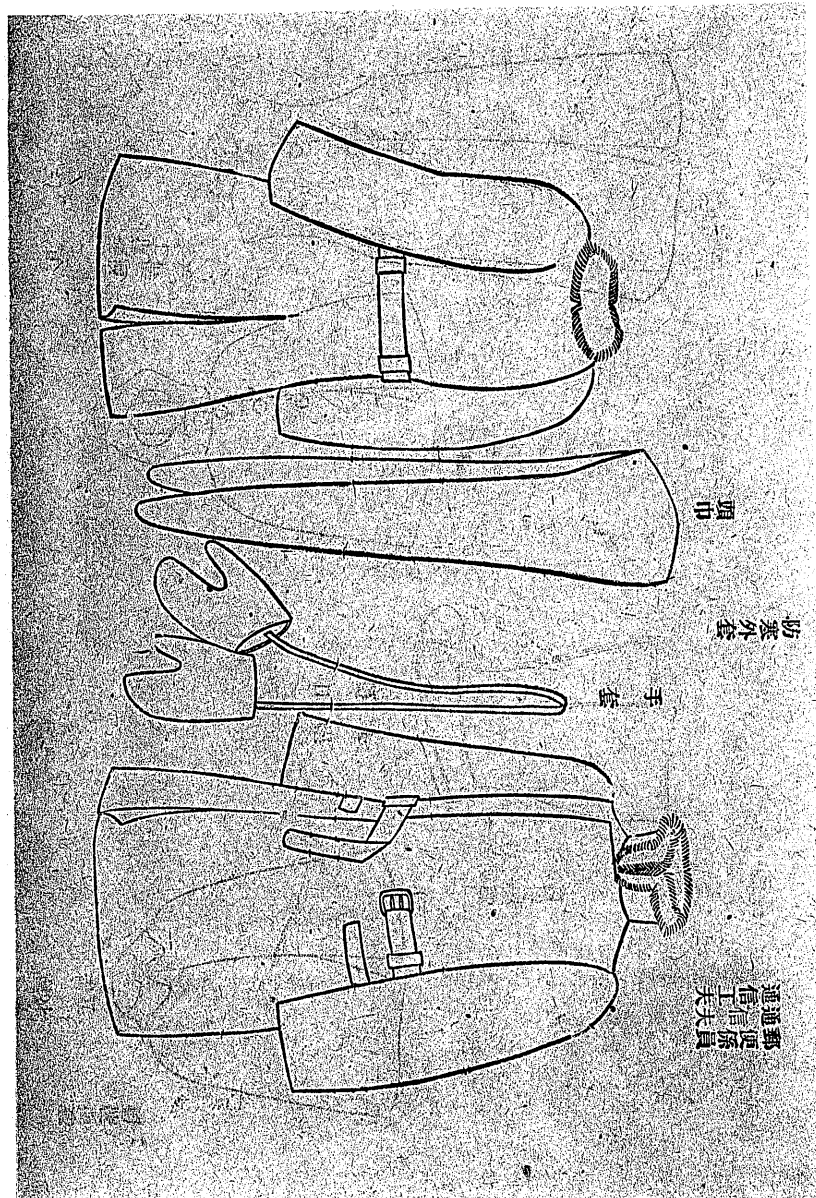
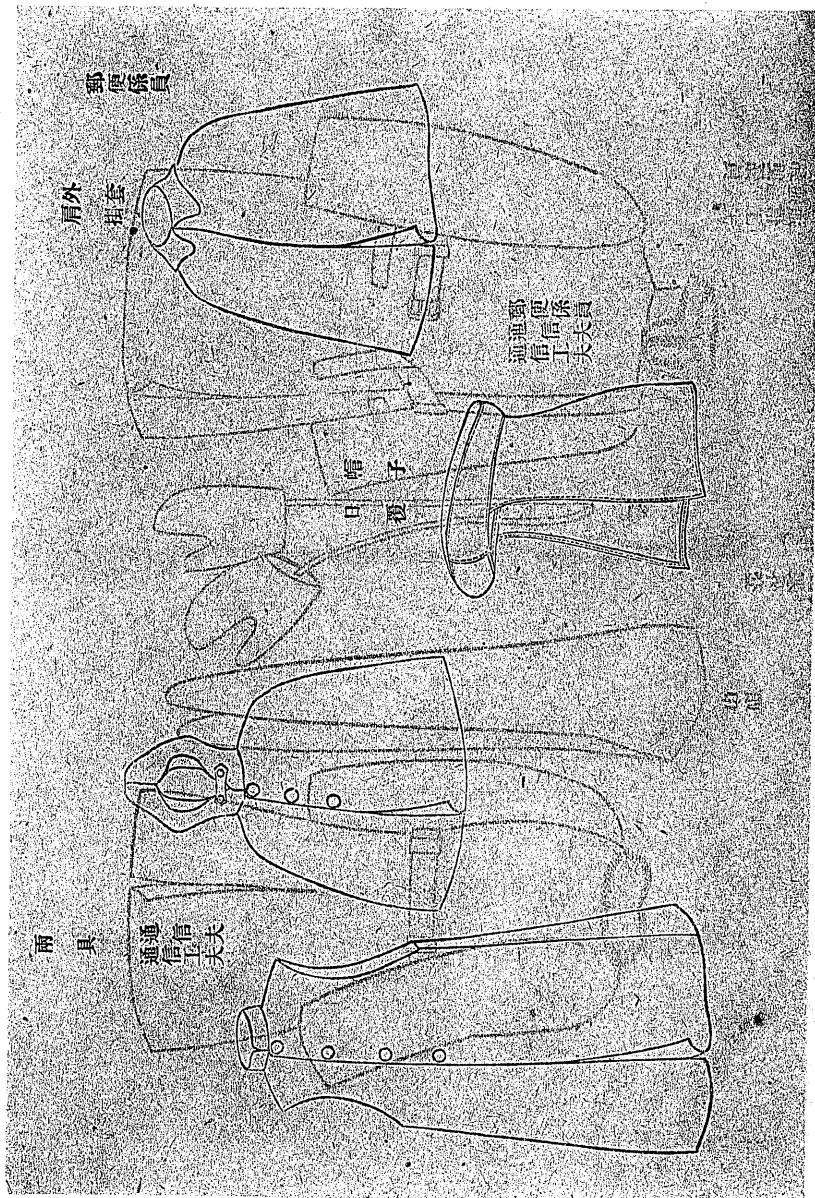






6-0010

0156



6-0010

0157

訓令第六十九號  
 關東都督府郵便電信支局分課規程左ノ通相定ム  
 明治三十九年十二月十六日 關東都督 男爵大島義昌  
 關東都督府郵便電信支局分課規程  
 第一條 支局ニハ掛ヲ置カサルヲ以テ本則トス  
 第二條 大連支局ニハ郵便掛、電信掛、電話掛及庶務掛ヲ置ク  
 第三條 左ノ各支局ニハ通信掛及庶務掛ヲ置ク  
 順支局  
 遼陽支局  
 鐵嶺支局  
 奉天支局  
 安東縣支局  
 第四條 郵便掛、電信掛及電話掛ニハ掛長ヲ置ク  
 第五條 關東都督府郵便電信局長ハ支局ニ三名以内ノ主事ヲ附  
 クコトヲ得但シ第二條及第三條ノ各支局ニ在リテハ庶務掛以  
 外ノ各掛ニ三名以内ノ主事ヲ置クコトヲ得  
 第六條 掛長及主事ハ關東都督府郵便電信局長之ヲ命免ス  
 附則  
 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

告示第四十四號  
 大連水道工事ノ爲本日午前十時ヨリ午後二時迄給水ヲ停止ス  
 明治三十九年十二月十五日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010





告示第十五號  
 本月二十一日ヨリ關東都督府郵便電信局大連支局及同安東縣支  
 局ニ於テ明治三十三年九月迄信省令第四十六號電報規則第七十  
 五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報取扱ヲ開始ス但シ軍事電報ニ  
 對シテ當分ノ内本文ヲ適用セズ  
 明治三十九年十二月十六日 關東都督 男爵大島義昌

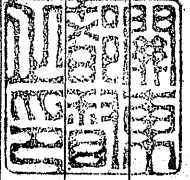
明治三十九年十二月十六日發 警政務

國官文第一四八號

當府府令第三十三號訓令第七十號 告示第四十六號 發布候ニ付別  
 紙及報告候也

明治三十九年十二月二十日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事課  
 會計課



券 門

四十年二月十二日記録

關東洲民政署

6-0010



訓令第七十二號  
郵便電信局  
電信現業務繁劇ノ郵便電信局及同支局ニ信使ヲ置ク信使ノ採  
用服務ニ關スル規定及信使ヲ使用セシムヘキ局ニ關東都督府郵  
便電信局長適宜之ヲ定ム  
明治三十九年十二月二十日 關東都督 男爵大島義昌

告示第四十六號  
大連大廣場及市場所在給水所ノ使用ヲ左記ノ者ニ許可シ本月三  
十一日ヨリ同所ニ於テ給水營業ヲ開始セシム  
明治三十九年十二月十九日 關東都督 男爵大島義昌  
大連奥町二丁目百八十四番戸  
告示第四十六號  
五寶仙吉





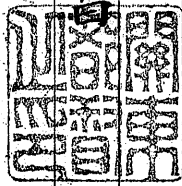
四十一年一月九日記録編纂

關東洲民政署

文書課

外務大臣子爵林 董殿

關東都督男爵大島義昌



當府訓令自第七十二號至第七十四號 發布候二付別紙及報告候也

明治三十九年十二月二十五日

關東文書第一五七號

受第 四七號

五管 政務局

Handwritten signature and initials.

告示第四十七號  
本月二十五日ヨリ左記支局及支局出張所ニ於テ下記ノ事務ヲモ  
取扱ノ但シ出張所ニ於テ郵便物集配事務ヲ取扱  
明治三十九年十二月二十五日 關東都督 男爵大島義昌

名	稱	位	取扱事務
關東都督府郵便電信局普蘭店支局	同	關東州普蘭店	爲替、貯金
魏子窩支局	同	魏子窩	同
熊岳城支局	同	滿洲熊岳城	同
益平支局	同	益平	同
得利寺支局	同	得利寺	同
鞍山站支局	同	鞍山站	同
烟臺支局	同	烟臺	同
蘇家屯支局	同	蘇家屯	同
新臺子支局	同	新臺子	同
開原支局	同	開原	同
雙廟子支局	同	雙廟子	同
郭家屯支局	同	郭家屯	同
本溪湖支局	同	本溪湖	同
連山關支局	同	連山關	同
浪子山支局	同	浪子山	同
大東溝支局	同	大東溝	同
大孤山支局	同	大孤山	同
鐵嶺支局	同	鐵嶺	同
開原支局	同	開原	同
昌圖支局	同	昌圖	同

6-0010

報年	測候所	備考	報年	測候所	備考	報年	測候所	備考
明治三十九年	東京		明治三十九年	東京		明治三十九年	東京	
明治三十九年	神戶		明治三十九年	神戶		明治三十九年	神戶	
明治三十九年	大阪		明治三十九年	大阪		明治三十九年	大阪	
明治三十九年	京都		明治三十九年	京都		明治三十九年	京都	
明治三十九年	名古屋		明治三十九年	名古屋		明治三十九年	名古屋	
明治三十九年	福岡		明治三十九年	福岡		明治三十九年	福岡	
明治三十九年	札幌		明治三十九年	札幌		明治三十九年	札幌	
明治三十九年	仙台		明治三十九年	仙台		明治三十九年	仙台	
明治三十九年	青森		明治三十九年	青森		明治三十九年	青森	
明治三十九年	岩手		明治三十九年	岩手		明治三十九年	岩手	
明治三十九年	秋田		明治三十九年	秋田		明治三十九年	秋田	
明治三十九年	山形		明治三十九年	山形		明治三十九年	山形	
明治三十九年	福島		明治三十九年	福島		明治三十九年	福島	
明治三十九年	茨城		明治三十九年	茨城		明治三十九年	茨城	
明治三十九年	栃木		明治三十九年	栃木		明治三十九年	栃木	
明治三十九年	群馬		明治三十九年	群馬		明治三十九年	群馬	
明治三十九年	埼玉		明治三十九年	埼玉		明治三十九年	埼玉	
明治三十九年	千葉		明治三十九年	千葉		明治三十九年	千葉	
明治三十九年	東京		明治三十九年	東京		明治三十九年	東京	

訓令第七十二號

明治三十九年九月訓令第三十三號關東都督府報告例中郵便電信局ノ次ヲ測候所ノ加ヘ同別冊中左ノ通改正ス

明治三十九年十二月二十二日 關東都督 男爵大島義昌

報告例目中年報第七十六項ノ次ニ左ノ五項並其ノ様式ヲ加フ

第七十七 氣象ノ一(測候所) 第七十五表

第七十八 氣象ノ二(同上) 第七十六表

第七十九 氣象ノ三(同上) 第七十七表

第八十 平均空氣ノ溫度(同上) 第七十八表

第八十一 平均雨雪ノ總數(同上) 第七十九表

官房 民部 警察 法務 郵便 測候所



訓令第七十四號

官 政 部 房

明治三十九年九月訓令第三十九號關東都督府官房並民政部記錄規則中左ノ通改正ス

明治三十九年十二月三十日 關東都督 男爵大島義昌 第四條 完結シタル文書ハ直ニ本規則ニ依リ處理スベシ

明治四十年一月十日接覽

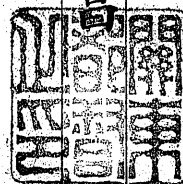
明治四十年十一月十日發覽

關官文第 四 號

當府府令第三十四號訓令自第七十五號至第七十九號告示自第四十八號至第五十八號發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年一月四日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事

令計

檢査



四十年三月廿五日記錄編纂

關東洲民政署

6-0010

府令第三十四號  
 明治三十九年十二月府令第三十一號大連水道管理規則第七條ニ  
 依リ水道維持費用負擔額左ノ通相定ム  
 明治三十九年十二月二十六日 關東都督 男爵大島義昌  
 大連水道維持費用負擔額

給水栓 種別	給水管内徑	給水栓一箇所一箇月ニ對スル負擔額
專用 (炊事又 浴室用)	一吋以上 一吋未満	四〇〇〇 五〇〇〇
同 (便所用)	一吋以上 一吋未満	二〇〇〇 三〇〇〇
共用	一吋以上 一吋未満	一〇〇〇 二〇〇〇
洗濯又ハ水槽用	一吋以上 一吋未満	三〇〇〇 四〇〇〇

訓令第七十五號  
 郵便電信局  
 明治三十九年十二月訓令第六十七號郵便電信局同支局電報取扱  
 種別中左ノ通改正ス  
 本令ハ明治四十年一月二日ヨリ之ヲ施行ス  
 明治三十九年十二月二十六日 關東都督 男爵大島義昌  
 大孤山支局ノ下 同 内外國和歐文電報ニ疊口支局關外出張  
 所ノ下 同 内外國和文電報ニ改ム

6-0010





訓令第七十六號  
 郵便電信局  
 通信夫ニシテ通常道路郵便線路ノ郵便物遞送又ハ郵便物集配ノ  
 爲勤務局ノ所在地外ニ宿泊シタル者ニハ旅費トシテ日當一日ニ  
 付金二十錢宿泊料一夜ニ付金八十錢ヲ支給ス  
 明治三十九年十二月二十六日 關東都督 男爵大島義昌

訓令第七十七號  
 民 政 署  
 警 務 署  
 明治三十九年九月訓令第三十四號關東都督府警察職員旅費規則  
 中左ノ通改正ス  
 明治三十九年十二月二十八日 關東都督 男爵大島義昌  
 前提中民政署ノ前ニ「民政部」民政署ノ次ニ「警務署」ヲ加フ  
 第八條 此ノ規則ニ於テ所轄内ト稱スルハ民政署及警務署ニ在  
 リテハ其ノ直轄區域、支署ニ在リテハ其ノ管轄區域ヲ謂フ但  
 シ奉天警務署直轄區域中本溪湖安東縣間ノ所轄外ト看做ス  
 關東州外ニ在リテハ鐵道線路ノ兩側三里以内ノ地ヲ以テ其ノ  
 所屬警務署又ハ支署ノ所轄内ト看做ス

6-0010



訓令第七十八號  
關東都府郵便電信局釧路支局電報取扱種別左ノ通相定ム  
明治三十九年十二月二十八日 關東都府男爵大島義昌  
取扱種別 内外國和文電報

訓令第七十九號  
關東都府郵便電信局仙臺支局電報取扱種別左ノ通相定ム  
明治三十九年十二月二十八日 關東都府男爵大島義昌  
取扱種別 内外國和文電報

6-0010



告示第四十八號  
 本日ヨリ左記支局ノ電話交換事務ハ下記ノ支局之ヲ取扱フ  
 明治三十九年十二月二十五日 關東都督 男爵大島義昌  
 局名 取扱局名  
 關東都督府郵便電信局 關東都督府郵便電信局奉天支局  
 奉天城内支局 同  
 上西旅順支局 上旅順支局

告示第四十九號  
 明治四十年一月一日ヨリ左記出張所ヲ設置シ下記ノ事務ヲ取扱  
 フ但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス  
 明治三十九年十二月二十八日 關東都督 男爵大島義昌  
 名 位置 取扱事務  
 關東都督府郵便電信局 滿洲長春 郵便、爲替、貯金  
 寬城子支局長春出張所

6-0010



告示第五十號  
明治四十年一月一日ヨリ左記支局ニ於テ電信事務ヲモ取扱フ  
明治三十九年十二月二十八日 關東都督 男爵大島義昌  
名 稱 位 置  
關東都督府郵便電信局 魏子窩支局 關東州 魏子窩

告示第五十一號  
毎年一月一日ヨリ十五日マテノ間第三種以下各種普通通郵便  
物ニ到着日附印ヲ押捺セス但シ外國郵便物ハ此ノ限ニ在ラス  
明治三十九年十二月二十八日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010



告示第五十三號  
 本月三十一日限り左記支局ヲ廢止シ其ノ事務ハ下記支局之ヲ承  
 繼ス  
 明治三十九年十二月二十八日 關東都督 男爵大島義昌  
 名 稱 位 置 承 繼 局 名  
 關東都督府郵便 滿洲撫順 關東都督府郵便電信局仙臺支局  
 電信局撫順支局

明治四十年一月十四日發受

通政務局

第六號

生

受第七四二號

發

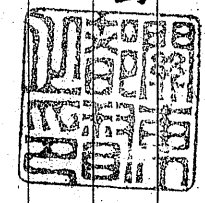
4

當府告示第五十三號  
 紙及報告候也

發布候ニ付別

明治四十年一月七日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

電信課



關東洲民政署



6-0010

告示第五十三號  
 明治四十年一月二日ヨリ左記支局ニ於テ電信事務ヲ取扱フ  
 明治三十九年十二月二十八日 關東都督 男爵大島義昌  
 名 稱 位 置  
 關東都督府郵便電信局仙臺支局 福 洲 仙 臺

明治四十年一月二十五日

三三號

政務局

第一三三四號

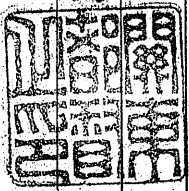
當府府令第一號告示  
 紙及報告候也

自第一號  
 至第四號

發布候  
 二付別

明治四十年一月十九日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

Handwritten signature in cursive (sōsho) style.

四十年二月四日 記録編纂部

關東洲民政署

6-0010









告示第一號  
 電話加入登記料、電話加入名義書換料及電話使用料ニ關スル土地ノ種別左ノ如シ  
 明治四十年一月九日 關東都督 男爵大島義昌

甲地 大連 旅順 奉天  
 乙地 安東縣 鐵嶺  
 丙地 柳樹屯 金州 遼陽 公主嶺

告示第二號  
 電話加入區域左ノ通相定ム但シ工事施行上ノ都合ニ依リ關東都督府郵便電信局長ニ於テ區域ヲ制限スルコトアルヘシ  
 明治四十年一月九日 關東都督 男爵大島義昌

關東都督府郵便電信局大連支局 普通加入區域  
 旅順支局 大連市  
 柳樹屯支局 旅順舊市街新市街  
 安東縣支局 柳樹屯  
 安東 安東  
 金州支局 金州  
 遼陽支局 遼陽  
 奉天支局 奉天  
 鐵嶺支局 鐵嶺  
 公主嶺支局 公主嶺

6-0010



告示第三號  
 本月十日ヨリ左記郵便電信支局ニ於テ公衆ノ電話加入申込ヲ受理ス希望ノ者ハ明治四十年一月府令第一號電話規則ニ依リ加入申込書ヲ差出スヘシ

名稱	位置
旅順支局	關東州旅順舊市街
柳樹屯支局	關東州柳樹屯
金州支局	關東州金州
鐵嶺支局	滿洲鐵嶺停車場附近
公主嶺支局	滿洲公主嶺

明治四十年一月九日 關東都督 男爵大島義昌

告示第四號  
 關東都督府民政部ノ事務ハ明治四十年一月十五日ヨリ旅順ニ於テ之ヲ取扱フ

明治四十年一月十三日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010



府令第三號  
大連商品陳列館規程左ノ通相定ム  
明治四十年一月三十一日 閣東部管 男爵大島義昌  
大連商品陳列館規程  
第一條 大連商品陳列館ヲ置ク  
第二條 商品陳列館ニ左ノ職員ヲ置キ大連民政署長之ヲ監理ス  
一 書記 若干人  
二 通譯 若干人  
但シ必要ニ應ジ技術員ヲ置ク  
三條 書記、通譯又ハ技術員ハ大連民政署長ノ指揮ヲ承テ庶務、通譯又ハ技術ニ従事ス  
附則  
明治三十八年七月告示第二號ハ之ヲ廢止ス

6-0010



告示第五號  
大連商埠陳列館處務規程左ノ通知定ム  
明治三十年一月二十三日 關東都督 男爵大島義昌

大連商埠陳列館處務規程  
第一條 本館ニ日本貿易ヲ増進スルノ目的ヲ以テ汎ク商品ヲ蒐  
集陳列シ公衆ノ觀覽ニ供ス  
第二條 本館ニ陳列スル商品及參考品ノ種類左ノ如シ  
一 日本產重要輸出品ニシテ滿洲貿易ニ最モ關係アルモノ及  
滿洲貿易品トシテ將來見込アルモノ  
二 外國産品ニシテ滿洲向ニシテ生産シタルモノ  
三 滿洲以外ノ清國産品ニシテ滿洲へ輸出セラルルモノ  
四 滿洲産品ニシテ日本貿易ニ最モ關係アルモノ及日本貿易  
品トシテ將來見込アルモノ  
五 其ノ他貿易參考品  
六 貿易ニ關スル參考圖書  
第三條 本館ニ差支ナキ限り前條ニ該當スル物品ノ出品又ハ寄  
贈ヲ受諾ス  
出品者ハ寄贈セムトスル者ハ別紙書式ニ從ヒ甲號ハ一連乙號  
ハ二種類毎ニ調製シタル書面ヲ提出スルコトヲ要ス  
別紙ノ所及方法ニ就テハ總務部長ノ指揮ニ從フヘシ  
第四條 性質上危險者、他ニ損傷ヲ及ボスノ虞アリト認ムル物  
品、其ノ包裝ノミヲ別列シテ提出スルコトヲ得  
第五條 本館ニ寄贈スル物品係商工上ノ出品、物産陳列所及商品見本  
陳列所等ニ屬ス通信ヲ開シ印刷物ヲ交換シ陳列品貸借讓與ヲ  
受ケ得ルモノトシ本館ニ見本取引ノ紹介及商業上ノ通信ヲ爲ス但シ此場  
合ニ其ノ費用ハ出品者ノ責任トス

應スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニハ其ノ費用ヲ徵收スルコ  
トアルヘシ  
第八條 本館ハ館報ヲ發行シ内外ノ通信報告其ノ他商工業ニ關  
スル諸般ノ事項ヲ掲載ス  
第九條 本館ハ圖書室ヲ設ケ商業及製作ニ關スル報告、統計、  
海陸圖、參考圖書、特ニ商工業ニ關スル新聞、雜誌等ヲ設備  
シ公衆ノ觀覽ヲ許ス  
第十條 本館陳列品ノ觀覽ハ無料トス  
第十一條 第十二條ノ休日ヲ除ク外毎日左記ノ時間中觀覽ヲ  
許ス但シ時宜ニ依リ之ヲ伸縮シ又ハ觀覽ヲ停止スルコトアル  
ヘシ  
一月八日ヨリ三月末日迄 午前十時ヨリ午後五時迄  
十一月一日ヨリ十二月二十四日迄 午前九時ヨリ午後四時迄  
四月一日ヨリ七月十日迄 午前九時ヨリ午後四時迄  
九月十一日ヨリ十月三十一日迄 午前八時ヨリ午後二時迄  
七月十一日ヨリ九月十日迄 午前八時ヨリ午後二時迄  
第十二條 本館ハ日曜日本祭祝日ノ翌日及一月二日ヨリ同七日  
迄十二月二十五日ヨリ同三十一日迄閉鎖ス  
附 則  
第十三條 本館ハ出品物ニ對シ相當ノ注意ヲ爲スト雖水火盜難  
其ノ他避クヘカラサル災害ヨリ起ル破損汚穢滅失等アルモ其  
ノ責任任セズ  
第十四條 本館ニ當分ノ内附屬即賣部ニ置キ陳列料ハ二區域ニ  
一付一箇月銀五圓トス  
別紙書式  
出品(寄贈) 姓名  
別紙目錄ノ物品貴館へ出品(寄贈) 致度候也  
年 月 日 住所 職 業 氏 名 印

乙號書式  
出品(寄贈)目錄  
物品、箇數、寸尺(横、豎、高)  
形狀若クハ枚條  
小賣相場  
御賣相場(設計額以上以下割引有無)  
模寫ヲ欲セザルモノハ禁撰寫ノ三字ヲ記スヘシ  
説明左ノ各項ヲ説明シ出品ニ添付シ之ヲ檢査スルコトヲ要ス  
產地及製造場  
製造人名  
原料及其ノ產地  
一箇年産額  
同 販 額  
商店所在(本支店共)  
販賣先及輸出先  
荷造費  
用 途  
注文ニ應シ得ルヘキ額  
右之通  
年 月 日 住所 職 業 氏 名 印

明治四十年二月八日接受 官政務局

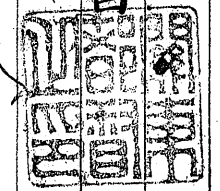
官文第七一號

受第 二〇一 號

當府府令自第四號訓令第一號告示第六號 發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年一月二十九日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

Handwritten signature: 大島義昌 (Ōshima Yoshichika)

關東洲民政署

府令第四號

關東都督府民政部土木課大連出張所規程左ノ通相定メ

明治四十年一月二十四日

關東都督 男爵大島義昌

第一條 關東都督府民政部土木課大連出張所ヲ大連ニ置キ大連ニ於テ左ノ工事ニ關シ左ノ事務ヲ掌ラシムルニシテ

一 工事ノ設計、施行、監督並検査ニ關スル事項

二 水道維持ニ關スル事項

三 工事用物品ノ出納保管ニ關スル事項

四 民政部所管建物ノ管理ニ關スル事項

第五條 出張所ニ左ノ職員ヲ置キ民政部土木課員ヲ以テ之ニ充テ

一 所長 若千人

一 助手 若千人

一 書記 若千人

第六條 所長ハ常備職工人夫等ノ備入及解備ヲ專行スルコトヲ得

第七條 出張所ニ必要簿冊ヲ備ヘ毎翌月十日迄ニ工事進行ノ狀況其ノ他詳細ヲ具シ民政部土木課長ニ報告スヘシ但シ臨時必要ト認ムル事項ハ即時報告スヘシ

第八條 營繕及土木ニ關スル測量調査ハ此ノ規程ニ於ケル工事ト看做ス

6-0010

府令第五號  
急口附近ニ於テペスト病發生漸次蔓延ノ兆アルニ付同地方  
來ル旅客ニ對シ左ノ停車場ニ於テ檢疫ヲ施行ス  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
明治四十年二月二十七日 關東都督 男爵大島義典  
牛家屯  
大石橋  
新井  
奉天

6-0010

0182



府令第六號  
南滿洲鐵道附屬地居留民會規則左ノ通相定ム  
明治四十年二月二十九日 關東都督 男爵大島義昌

南滿洲鐵道附屬地居留民會規則  
第一條 警務署長ハ關東州外南滿洲鐵道附屬地中必要ト認ムル場所ニ居留民會ヲ設クルコトヲ得  
第二條 居留民會ハ南滿洲鐵道各附屬地ヲ區劃シテ其ノ附屬地ニ居留スル住民ヲ以テ組織ス但シ各附屬地ノ戶數人口及距離ノ關係上必要ト認ムルトキハ二以上ノ附屬地ヲ聯合スル居留民會ヲ設クルコトヲ得  
第三條 居留民會ハ衛生、土木、教育其ノ他居留民共同ノ利益ニ關スル事項ヲ協議處理スルヲ目的トス  
第四條 居留民會ニ會長一人副會長一人委員若干人ヲ置ク委員ノ定數ハ警務署長之ヲ定ム  
第五條 會長副會長ハ警務署長指名シ都督之ヲ認可ス  
第六條 委員 當分ノ内居留民ノ選舉ニ依リテ警務署長之ヲ指名ス  
警務署長ハ副項ノ委員ヲ指名シ、直ニ都督ニ報告ス

第七條 會長副會長及委員ハ名譽職トス其ノ任期ハ一箇年トス  
第八條 居留民會ハ警務署長ノ認可ヲ經テ理事其ノ他必要ノ有給吏員ヲ置クコトヲ得  
第九條 會長及副會長 當然委員ノ資格ヲ有ス  
會長ハ會議ノトキ議長トナリ又居留民會ヲ代表シ議決事項ヲ施行ス副會長ハ會長事故アルトキ其ノ代理ヲ爲ス  
委員ハ居留民會ヲ代表シ會議ノトキ議決權ヲ有シ其ノ議決事項ヲ施行ス

第十條 居留民會ハ議事ノ必要アル毎ニ會長之ヲ召集ス若委員三分ノ以上ノ請求アルトキハ必ス之ヲ召集ス  
第十一條 居留民會ハ議事ハ委員半數以上出席シ其ノ過半數ニ依リテ決定ス若シ若ク同數アルトキハ議長之ヲ採決ス  
第十二條 居留民會ハ第三條ノ施設ニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メ賦課金及課目ヲ議決シ居留民ニ賦課徵收スルコトヲ得  
第十三條 居留民會ニ於テ議決シタル事項ハ警務署長ノ認可ヲ受クヘシ  
警務署長前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ直ニ都督ニ報告ス  
都督ハ警務署長ノ認可シタル議決ト雖不當又ハ違法ト認ムルトキハ之ヲ取消シ又ハ其ノ施行ヲ停止シ命ズルコトヲ得

第十四條 居留民會ハ收入支出及豫算決算ヲ明瞭ラシムル爲メ必要ナル帳簿ヲ備ヘ毎月末其ノ明細書ヲ警務署長ニ提出ス  
第十五條 居留民會ハ百圓以上ノ支出ニ關シテハ警務署長ノ認可ヲ受クヘシ  
第十六條 領事官所轄ノ居留民ト相接スル地ニ在ル居留民會ハ利害ヲ同ズル事項ニ關シテハ領事官所轄居留民會行政委員ト協議シ負擔ノ堪ユル範圍ニ於テ其ノ施行ノ一致ヲ圖ルコトヲ要ス

第十七條 都督ハ公安上必要ト認ムルトキハ居留民會ヲ解散シ又ハ會長副會長及委員ノ指名ヲ取消ス  
第十八條 居留民會ハ本規則ニ基キ處務細則ヲ作り警務署長ノ認可ヲ得テ施行ス

附則  
第十九條 南滿洲鐵道株式會社ノ事業ヲ開始スルニ當リ政府ノ命令ニ依リテ又ハ定款ニ基キ施行スルニ關シテ其ノ施行ノ時期等ハ本規則ヲ適用セズ  
第二十條 本規則ハ居留民會ニ對シ特別制度ヲ定ムル地ニ之ヲ適用セズ  
第二十一條 本規則ハ明治四十年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年四月四日府令第五十四号  
南滿洲鐵道附屬地居留民會規則施行令

訓令第二號  
 明治三十九年十二月府令第三十四號大連水運維持費用負擔額  
 其ノ事ニ於テ徵收スヘシ  
 明治四十年一月二十七日  
 關東都督 男爵大島義昌

訓令第二號

官 民 官 政 政 房  
 民 政 部  
 警 務 署  
 法 院  
 郵 便 電 信 局  
 測 候 所

關東都督府文官禮式左ノ通相定ム  
 明治四十年二月二十九日 關東都督 男爵大島義昌

第一條 此ノ禮式ニ於テ文官ト稱スルハ關東都督府高等文官、判任文官ヲ謂ヒ上官ト稱スルハ勅任官、委任官、判任官及判任以下ニ區別シタル階級ノ上ナルモノヲ謂フ  
 第二條 文官ニシテ制服ヲ着用シタル者ハ此ノ禮式ニ依リ上官ニ對シテハ敬禮ヲ行ヒ上官ハ之ニ答禮シ同班者ハ互ニ敬禮ヲ交換スヘシ  
 第三條 敬禮ヲ分テ室內敬禮及室外敬禮ノ二トス  
 第四條 室内ノ敬禮ハ敬スヘキ人ニ對シテ正面シ姿勢ヲ正シ左右ノ手ヲ垂下シ其ノ眼ニ注目シ吻部ヲ上部ヲ少シ傾シ右ノ手ヲ持ツテ右ノ手ニテ其ノ前庇ヲ觸ル之ヲ垂直ニ提ク帽ノ内部ヲ内股ニ對シシム刀ヲ佩フルトキハ柄ヲ後ニシテ兩環ノ間ヲ握ル

掌

第五條 上官ノ居室ニ入ルトキハ其ノ席ヲ離ルコト五六歩ノ所ニ於テ敬禮ヲ行フヘシ若シ上官數名アルトキハ先其ノ最高級ノ人ニ敬禮シ次テ他ノ一同ニ敬禮スルモノトス其ノ居室ヲ去ルトキ亦同シ  
 第六條 上官ヨリ官記位記辭令書ノ類ヲ受クルトキハ第四條ノ法ニ依リ敬禮ヲ行フノ後適宜前進シ帽ヲ左脇ニ挾ミ右手ヲ以テ拜受シ左手ヲ副テ披見シ直ニ之ヲ收メ舊位ニ復シ再度敬禮ヲ行ヒ退去スヘシ  
 第七條 室外ノ敬禮ハ敬スヘキ人ニ對シテ正面シ姿勢ヲ正シ左右ノ手ヲ垂下シ右手ヲ舉ケ諸指ヲ接シテ食指ト中指ヲ帽ノ前庇ノ右側ニ當テ指外面ニ向ケ肘ヲ肩ニ齊クシ其ノ眼ニ注目ス刀ヲ佩フルトキハ柄ヲ後ニシ兩環ノ間ヲ握ル  
 第八條 途上ニ於テ上官ニ行遇ヒ又ハ其ノ傍ヲ通過スルトキハ頭ヲ少シク受禮者ノ方ニ向ケ第七條ノ法ニ依リ敬禮ヲ行フヘシ  
 附 則  
 第九條 文官以外ノ者ヨリ敬禮ヲ受ケタルトキハ之ニ答禮スヘシ  
 第十條 此ノ禮式ハ特ニ規定アルモノニハ之ヲ適用セズ  
 第十二條 本令ハ明治四十年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

6-0010

告示第六號  
明治三十九年九月告示第十四號關東都督府郵便電信局分室ヲ置  
クノ件ハ本月十三日限リ之ヲ廢止ス  
明治四十年一月二十二日  
關東都督 男爵大島義昌

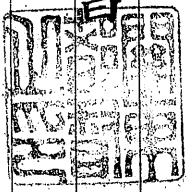
明治四十七年二月十八日接受 王管 政務局

國官文簿一〇七號

當府府令 訓令第三號 發布候ニ付別  
紙及報告候也

明治四十年二月九日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

Handwritten signature in cursive.

Handwritten signature in cursive.

敬啟

關東洲民政署

明治三十九年九月



Handwritten signature and initials.

Handwritten characters '4' and 'u'.

6-0010



府令第七號  
 熊岳城ノ東方約三里ノ瓦房峪、河家溝、柳家寨、紅旗堡、四臺  
 等ニ肺病ノ發生シ流行地ト認ムルヲ以テ當分ノ内同地方ヲ發  
 シ若ハ同地方ヲ經テ南滿洲鐵道附屬地内ニ立入り若ハ物件ヲ輸  
 入シ又ハ蓋平、熊岳城、萬家溝停車場ヨリ旅客若ハ物件ヲ乘車  
 ヲ禁止ス但蓋平熊岳城萬家溝鐵道附屬地内ニ在留者ニシテ警務署  
 長又ハ守備隊長ノ證明書ヲ有スル者ハ此ノ限リニテラス  
 附則  
 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 明治四十年二月四日 關東都督 男爵大島義昌

府令第八號  
 明治三十九年十月府令第二十五號金州民政署管内支署ノ名稱位  
 置管轄區域中左ノ通改正ス  
 明治四十年一月七日 關東都督 男爵大島義昌  
 金州民政署普蘭店支署ノ位置欄普蘭店ノ下ニ會掛符標ヲ「普蘭  
 店街」ニ管轄區域欄「胎城堡會」ヲ「朝陽寺會」ニ「小周家屯會」ヲ  
 「花兒山會」ニ「孫家大道會」ヲ「閣龍山會」ニ「手島」ヲ「平島」ニ  
 「駱駝島」ヲ「路花島」ニ「華園寺會」ヲ「華嚴會」ニ「黃曉廟會」ヲ  
 「黃曉子廟會」ニ改メ平島ノ次ニ「交流島」ヲ加フ

6-0010

0185

(新)

府令第九號  
衛生組合規則左ノ通相定ム  
明治四十年二月八日 關東都督 男爵大島義昌

衛生組合規則  
第一條 民政署長ハ汚物ノ掃除及清潔方法消毒方法其ノ他傳染病豫防救済ニ關スル方法施行ノ爲必要ト認メタルトキハ區域ヲ定メ衛生組合ヲ設クルコトヲ得  
衛生組合ハ規約ヲ設ケ前項ノ事務ヲ施行ス  
第二條 民政署長ノ指定シタル區域ノ居住者ハ當然衛生組合員トス  
第三條 衛生組合ノ經費ハ其ノ組合ノ負擔トス  
經費ノ收支方法ハ組合之ヲ定メ民政署長ノ認可ヲ受クヘシ  
第四條 衛生組合規約ハ民政署長ノ認可ヲ受クヘシ  
第五條 衛生組合ニハ組合長一名副組合長二名ヲ置ク  
前項ノ外衛生組合ニハ衛生上ノ技能アル顧問一名ヲ置クコトヲ得  
第六條 組合長及副組合長ヲ代表シ規約ニ基キ其事務ヲ掌理ス  
第七條 副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職ヲ代理ス  
第八條 土地ノ狀況ニ依リ一衛生組合ノ地區ヲ小區域ニ區劃スルノ必要アルトキハ各區ニ衛生委員及副衛生委員各一名ヲ置キ其ノ區域内ニ於ケル衛生事務ヲ補佐セシムルコトヲ得  
第九條 衛生組合長副組合長、顧問衛生委員及副衛生委員ハ民政署長之ヲ撰任ス  
第十條 本規則施行ノ爲必要ナル規程ハ民政署長之ヲ定ム

6-0010

訓令第三號

官房  
民政  
警察  
署

委任事項左ノ通相定ム

明治四十年一月二十九日

關東都督男爵大島義昌

左ニ掲クル事項ハ都督又ハ都督府ノ名ヲ以テ官房  
各科長又ハ民政部各課署長限リ施行ス  
一 輕易ナル民政署長ノ發シタル署令告示告諭ノ查  
閱ニ關スル事項

- 二 規則ニ依ルカ又ハ先例アル輕易ナル上申願伺届  
ノ查閱及其ノ處分ニ關スル事項
- 三 處分上必要ナル参考事項ニ關シ都督府所屬外各  
官廳ニ照會往復ニ關スル事項
- 四 規畫ノ決定シタル事件ノ範圍内ニ於ケル入札及  
契約保證金額並豫定價格ヲ定メ及隨意契約ノ保  
證金免除ニ關スル事項
- 五 豫算ノ範圍内ニ於ケル一廉千圓未満ノ工事ノ施  
行及物件ノ運搬賣貸借勞力供給及契約締結並  
其ノ處分ニ關スル事項
- 六 豫算ノ範圍内ニ於ケル工事設計物件ノ運搬勞力  
供給ノ變更及契約ノ處分ニ關スル事項
- 七 普通ノ場合ニ於ケル工事監督官吏及工事物件ノ

Handwritten notes in the top left margin, including the date '明治四十年一月二十九日'.

訓令第三號

官房  
民政部  
警務署

委任事項左ノ通相定ム

明治四十年一月二十九日

關東都督男爵大島義昌

左ニ掲クル事項ハ都督又ハ都督府ノ名ヲ以テ官房  
各科長又ハ民政部各課署長限リ施行ス  
一 輕易ナル民政署長ノ發シタル署令告示告諭ノ查  
閱ニ關スル事項

二 規則ニ依ルカ又ハ先例アル輕易ナル上申願伺届  
ノ查閱及其ノ處分ニ關スル事項  
三 處分上必要ナル参考事項ニ關シ都督府所屬外各  
官廳ニ照會往復ニ關スル事項

四号中  
入札及契約保証金額ハ委任規程第五條ニ於テ關東都督之可定ハシトアリテ  
之ヲ其部局長ニ委任スルヲ認メザルモノ、如シ(會計規則第七十條 保証金ハ各局長ニ定ムルニ付)  
關東都督府及所屬各廳ニ於テ現金前渡受ル官吏ノ任先ハ各部局長ニ任スルコト  
ヲ得ベキハ委任規程第四條ノ明記スル所ナリ本号ハ此委任ノ意ナカク又ハ部局長ヲ  
現金前渡官吏トナストノ意ナカク(各部局長ニ付拂命令ヲ發セザルニ付爲得ルモノ)

六 豫算ノ範圍内ニ於ケル工事設計物件ノ運搬勞力  
供給ノ變更及契約ノ處分ニ關スル事項  
七 普通ノ場合ニ於ケル工事監督官吏及工事物件ノ

検査官吏命免ニ關スル事項

八工事ノ竣工若ハ既濟部分又ハ物件ノ納付若ハ既濟部分及勞力ノ全部若ハ一部供給ノ検査調書査

閱ニ關スル事項

九法律命令ニ基クモノ又ハ定例アル豫算ノ増減令

達ニ關スル事項

十俸給其ノ他諸仕拂ニ關スル事項

左ニ掲クル事項ハ民政長官又ハ民政部ノ名ヲ以テ官房各科長又ハ民政部各課署長限リ施行ス

一規畫ノ決定シタル工事ノ請負物件ノ賣買貸借勞

力供給ノ契約締結及處分ニ關スル事項

二事務上参考ト爲ルヘキ事項ヲ各官廳通牒ニ關ス

ル事項

三指令又ハ回答ヲ催促スル上申照會ニ關スル事項

四輕易ナル通牒照會回答ニ關スル事項

五迂路旅行ノ許否ニ關スル事項

左ニ掲クル事項ハ官房各科長又ハ民政部各課署長限リ其ノ名ヲ以テ施行ス

一 一定規アル諸報告類提出方督促ニ關スル事項

二 違式不法ノ書類訂正及返付ニ關スル事項

三 未決裁ノ書面請求ニ依リ下戻ニ關スル事項

四 文書ノ誤送ニ係ルモノ移牒及返戻ニ關スル事項

五 伺上申報告等調査上照會往復ニ關スル事項

六 輕易ナル事件ニシテ都督府所屬官署ニ照會往復



ニ關スル事項

七警務課長ハ前各項ノ外警察事務ノ統一上必要ト  
認ムルトキハ警視以下ヲ指揮スルコトヲ得但レ  
關東州内ニ在リテハ事急ニシテ民政署長ニ注意  
ヲ促シ又ハ協議ヲ爲スノ暇ナキ場合ニ限ル

6-0010

0191

明治四十年二月十五日接覽

王管 政務局



Handwritten signature and date: 二月十八日

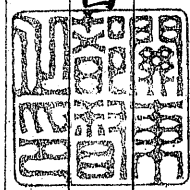
訓令第四號

第二八五八號

當府訓令第四號告示自第七號告示諭第一號發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年二月十八日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿



人事 會計

明治三十八年八月日録編纂後

關東洲民政署

訓令第四號

民政部 署

關東都督府民政部庶務課所屬ノ苗圃事務所ヲ左記ノ箇所ニ置キ

苗圃ニ關スル一切ノ業務ヲ取扱ヘシム

明治四十年二月十六日

苗圃名	苗圃事務所名	位 置
大連苗圃	大連苗圃事務所	大連市西公園内
旅順苗圃	旅順苗圃事務所	旅順方家屯楊樹溝
金州苗圃	金州苗圃事務所	金州東門外

6-0010

告示第七號  
二月十一日ヨリ關東都督府郵便電信局安東縣支局ニ電話通話事  
務ヲ開始ス  
明治四十年二月十三日  
關東都督 男爵大島義昌

告示第八號  
電話加入區域外通話區域及電話料電話呼出料左ノ如シ  
明治四十年二月十三日 關東都督 男爵大島義昌  
加入區域外通話區域 一通話ノ電話料 一回ノ電話呼出料  
安東縣新義州間 金二十錢 金十錢

6-0010



告示第九號

關東都督府郵便電信局及支局所電話通話時間左ノ通相定ム

明治四十年二月十三日

關東都督 男爵大島義昌

三月一日ヨリ十月三十日マテ

午前七時ヨリ午後十時ニ至ル

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ

午前八時ヨリ午後十時ニ至ル

但シ當分ノ内韓國ニ對スル通話時間ハ本文ノ午前七時ヨリ  
ヲ午前六時ヨリ午前八時ヨリヲ午前七時ヨリトス

告示第十號

明治三十三年八月遞信省令第四十號電話呼出規程第一條ノ電話  
呼出地域左ノ通相定ム

明治四十年二月十三日

關東都督 男爵大島義昌

一 關東都督府郵便電信局安東縣支局普通加入區域内

告示第十一號  
統監府新義州郵便局ニ於ケル明治三十三年八月遞信省令第四十  
號電話呼出規程第一條ノ電話呼出地域左ノ如シ  
明治四十年二月十三日 關東都督 男爵大島義昌  
一 韓國新義州一圓

告示第十一號  
西營口、七里溝、黃窩棚附近ニ於テ肺病發生蔓延ノ兆アリ  
ニ依リ本年二月府令第五號ヲ發布シ爾來牛家屯、大石橋、奉天  
及新民屯停車場ニ於テ檢疫ヲ施行セルモ尙熊岳城ノ東方約三里  
ヲ距ル夷房峪、河家溝、柳河寨、紅旗堡、四臺子等ノ附近ニ於  
テ同病患者續發シ日ニ蔓延ノ狀況アルヲ發見シタルヲ以テ更ニ  
本月府令第七號ヲ以テ右流布地ヲ發見シタル地方ヲ經テ來ルモ  
南滿洲鐵道附屬地内ニ立入リ又ハ物件ヲ輸入スルヲ禁止シ  
蓋平、熊岳城及瀋陽領事館ニ於テ旅客ノ乘車及物件ノ搭載ヲ  
禁止シ之ヲ所以テ所ニ各地方ニ發生モ患者ハ突以テ中最近  
恐ルヘキ肺病トシテ屬スルヲ以テ一層ノ注意ヲ要ス依テ該府令  
ノ趣旨ヲ嚴守シ該地方ノ交通ヲ慎ミ又ハ物資ノ輸入ニ注意スル  
ハ勿論民族ノ隔離斃鼠ノ發見及家屋身體ノ清潔ニ留意シ病毒浸  
襲ノ餘地ヲカサシ以テ各自不測ノ慘害ヲ被ラサルニ助ム  
ハシメテ  
關東都督 男爵大島義昌  
明治四十年二月十日



第 四 門

關東都督府文官制服標章左ノ通相定ム  
附則  
本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治四十年三月二十六日 關東都督 男爵大島義昌  
關東都督府文官制服標章

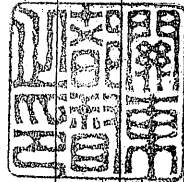
關東都督府文官制服標章

受第 三五二一 號

當府府令第十號訓令第五號告示自第十二號發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年二月二十六日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

關東都督府

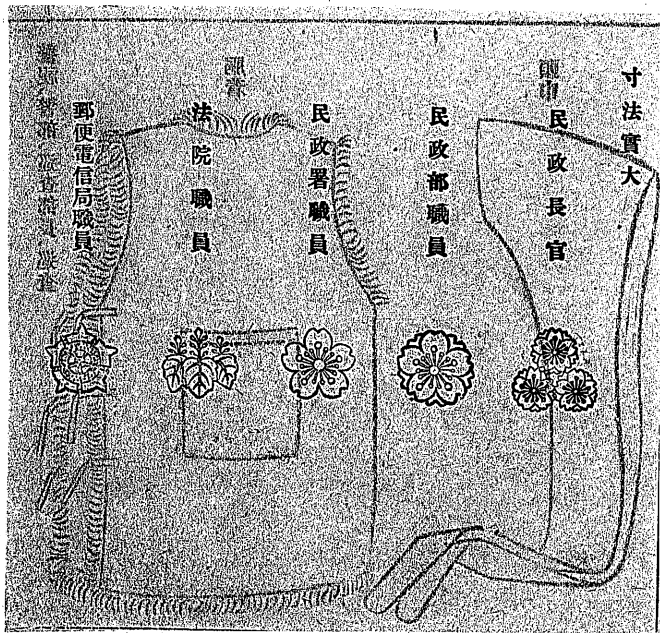
人事切  
令計

四十二年十一月十一日記録編纂受

關東洲民政署

府令第十號	關東都督府文官制服標章左ノ通相定ム
附則	本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十年三月二十六日	關東都督 男爵大島義昌
關東都督府文官制服標章	
高 官	判 任 官
民 政 長 官	銀 色 餘 同 上
民 政 部 職 員	銀 色 餘 同 上
民 政 署 職 員	銀 色 餘 同 上
法 院 職 員	銀 色 餘 同 上
郵 便 信 局 職 員	銀 色 餘 同 上

四十二年十一月十一日記録編纂受



6-0010

訓令第五號  
關東都府郵便電信局安東縣支局舊市街出張所電報取扱種別左ノ通相定ム  
明治四十年二月二十三日 關東都督 男爵大島義昌  
取扱種別 内外國和文電報

四十一  
日録編纂

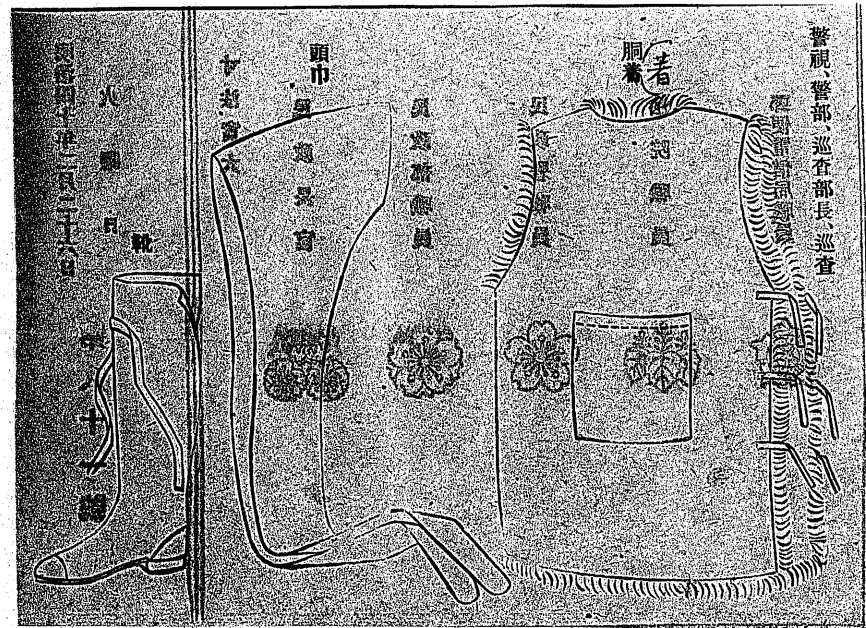
告示第十二號  
明治三十九年九月告示第三號郵便電信局支局取扱事務中左ノ通改正ス  
明治四十年二月十九日 關東都督 男爵大島義昌  
營口支局取扱事務中電信ノ下「電話交換」ヲ削ル

四十一  
日録編纂

6-0010



告示第十四號  
 明治三十九年三月廿三日告示第三號關東都府警察官防塞外套  
 制式圖例覆面ノ下注左ノ通追加ス  
 明治四十年二月二十六日 關東都府 男爵大島義昌  
 附 關東都府警察官防塞外套  
 茶褐色布 被 裏毛布、表茶褐色布、皮底、裏布、表茶  
 形狀圖ノ如シ 高一箇ヲ發シ形狀 大形形狀圖ノ如シ



告示第十三號  
 本月二十五日ヨリ左記支局出張所ヲ設置シ下記ノ事務ヲ取扱フ  
 但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス  
 明治四十年二月二十三日 關東都府 男爵大島義昌  
 名 稱 位 置 取 扱 事 務  
 關東都府郵便電信局 滿洲安東縣 郵便、電信、爲替、貯金  
 安東縣支局舊市街出張所 舊市街 電話、爲替、貯金

通話

6-0010





關東都督府令第三八二號

明治四十年三月二十二日接見

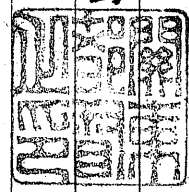
善政後生

生

當府府令第十一號第十二號訓令第六號發布候二付別紙及報告候也

明治四十年三月五日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事



會計



關東洲民政署

明治四十一年十一月十二日記録編受

府令第十一號  
明治四十年三月二十二日接見  
關東都督 男爵大島義昌  
第一條 奉天ノ下歩兵第五十四聯隊ヲ「歩兵第五十六聯隊」ニ改メ  
第二條 公主嶺包圍歩兵第五十六聯隊ヲ「騎兵第十八聯隊」ニ改メ  
第三條 奉天ノ下歩兵第五十三聯隊第二大隊ヲ「獨立守備第四大隊」ニ改メ

6-0010

第十一号

附令第十號  
明治四十年二月府令第七號ハ廢止ス  
附則  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
明治四十年二月二十八日  
關東都督 男爵大島義昌

6-0010



訓令第六號  
 員 警務署  
 官 警務署  
 警務署  
 關東都府警察職員防寒具取扱手續左ノ通相定ム  
 明治四十年三月五日  
 關東都府 男爵大島義昌

第一條 警察職員防寒具ノ取扱ニ關シテハ本手續ニ規定スルモノノ外ニ一般物品ノ例ニ依ル

第二條 警察職員ニハ必要ニ應ジテ防寒具ヲ貸與ス其ノ名稱、員數及貸與期限左ノ如シ但シ寒氣ノ狀況ニ依リ民政長官ノ認可ヲ得テ貸與期限ヲ伸縮スルコトヲ得

第三條 防寒具受拂簿ニハ第一號様式  
 第一號様式  
 第二號様式  
 第五條 物品會計官吏ハ防寒具ノ受拂ヲ證明スル爲メ毎年三月末日ノ現在關シテ第三號様式ニ依リ翌月三日迄ニ民政部警務課

防寒外套 腕章 同  
 防寒帽 同  
 防寒靴 同  
 防寒手袋 同  
 防寒圍巾 同  
 防寒手套 同  
 防寒靴 同  
 防寒手袋 同  
 防寒圍巾 同  
 防寒手套 同

(第一號様式) 用紙半紙以下同シ

品名	年日	受	拂	供	用	在	庫	計	算	期	間	考
防寒外套	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒帽	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒靴	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒手袋	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒圍巾	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒手套	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府

官職氏名 男爵大島義昌

品目 防寒外套 防寒帽 防寒靴 防寒手袋 防寒圍巾 防寒手套

員數 100

受領 交付年月日 明治四十年三月五日

返納年月日 明治四十年三月三十一日

印 備考

第七條 防寒具ノ毀損又ハ紛失シタルモノハ本手續ニ規定スル手續ニ依リ之ヲ納付セシムヘシ但シ情狀ニ依リ民政長官ノ認可ヲ得テ免除スルコトヲ得

第六條 防寒具ハ貸與期限後又ハ免職、休職、轉職、死亡及轉勤ノ際直ニ本人、遺族又ハ之ニ代ハルヘキモノヨリ之ヲ返納セシムヘシ

第五條 防寒具ノ貸與期限外毀損セタルモノハ爲防備費用ト爲庫ニ格納シ和當額入ラ爲スヘシ

本手續ハ明治四十年三月十日ヨリ之ヲ施行ス

(第二號様式)

品名	年日	受	拂	供	用	在	庫	計	算	期	間	考
防寒外套	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒帽	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒靴	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒手袋	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒圍巾	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府
防寒手套	明治四十年三月五日	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府	男爵大島義昌	關東都府

官職氏名 男爵大島義昌

品目 防寒外套 防寒帽 防寒靴 防寒手袋 防寒圍巾 防寒手套

員數 100

受領 交付年月日 明治四十年三月五日

返納年月日 明治四十年三月三十一日

印 備考